

**第2次南丹市環境基本計画
アンケート調査結果報告書
(市民編)**

**令和2年●月
南丹市**

目 次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果の概要.....	2
III 調査結果.....	6
1 回答者の属性.....	6
2 環境に対する考えや意識について.....	7
3 日常生活における環境に配慮した行動の実施状況.....	12
4 お住まいの地域の環境について.....	16
5 南丹市全体の環境について.....	26
6 地球温暖化に関する意識について.....	29
IV 資料編.....	33
1 自由意見.....	33
2 調査票.....	38

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民・事業者・小中学生を対象に、環境に関する意識調査を実施し、地域で解決を目指すための課題を洗い出すとともに、今後の環境施策推進の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査の概要

市民の調査概要は、以下のとおりです。

<市民>

調査対象	市内に住む18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人
調査時期	令和元(2019)年11月18日～12月2日
配布回収方法	郵送
配布数	2,000通
回収数	748通 [参考 前回平成2(2009)年調査時 849通]
回収率	37.4% [参考 前回平成2(2009)年調査時 42.5%]

3 集計表記について

- ・図表に示されている割合は、小数第2位を四捨五入して表記しているため、割合の合計が100%にならないことがあります。
- ・本文や図表等の選択肢や回答の表記は、場合により語句を簡略化しています。

II 調査結果の概要

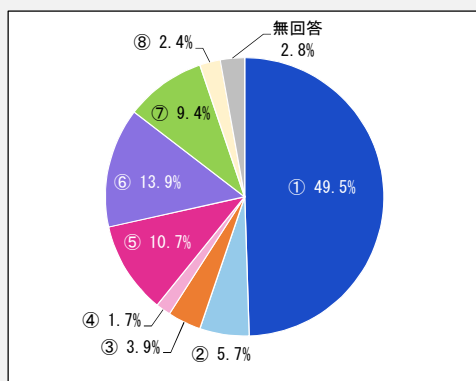
<回答者の属性について>

- 年齢は、50～60代が最も高く44.8%となっており、50代以上が72.1%を占めています。
- 家族の人数は、3～5人が最も高く52.5%で、次いで2人が30.7%と高くなっています。
- 居住地域は、園部地域が最も高く47.6%で、次いで八木地域が23.3%と高くなっています。
- 職業は、会社員・団体職員などが最も高く19.0%で、次いでパート・アルバイトが18.4%と高くなっています。

<環境に対する考えや意識について>

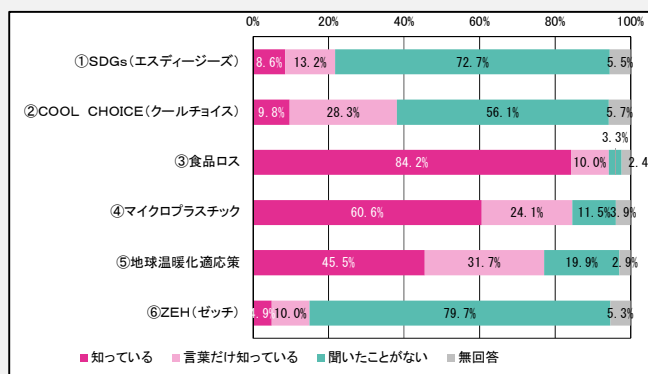
- 最も重要であるとする環境問題は、地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題が49.5%と全体の約半数を占めており、次いで不法投棄、ポイ捨てなどのごみ問題が13.9%と高くなっています。

選択肢	回答者数	割合(%)
① 地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題	370	49.5%
② エネルギー・資源の枯渇に関する問題	43	5.7%
③ 大気汚染に関する問題	29	3.9%
④ 水質汚濁に関する問題	13	1.7%
⑤ 3R（リデュース：減らす、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）	80	10.7%
⑥ 不法投棄、ポイ捨てなどのごみ問題	104	13.9%
⑦ 森や川などの自然環境に関する問題	70	9.4%
⑧ その他	18	2.4%
無回答	21	2.8%
合計	748	100.0%



【最も重要であるとする環境問題】

- 食品ロス、マイクロプラスチック、地球温暖化適応策は、「知っている」「言葉だけ知っている」が大半を占めており、認知度が高くなっています。
- 一方、SDGs、COOL CHOICE、ZEHについては、いずれも「聞いたことがない」が大半を占めており、認知度を高めるための啓発などが必要です。



【環境に関する用語の認知度】

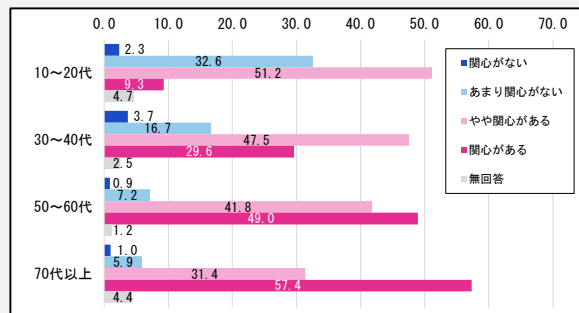
- 地球温暖化が進んでいるという実感は、「非常に感じる」「感じる」が大半を占めており、地球温暖化の進行を実感している回答者が多くなっています。
- 地球温暖化の進行を実感する現象としては、自然災害や異常気象の増加が最も高く84.1%が選択しており、次いで猛暑日の増加が71.0%と高くなっています。

<日常生活における環境に配慮した行動の実施状況について>

- ・「実施している」「ある程度実施している」の割合が高い項目は、「(1) unnecessaryな照明はこまめに消したり、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている」「(2) 冷暖房は適温で使用する」「(11) 資源ごみの回収に協力する」となっており、回答者の大半が実施しています。
- ・一方、「実施する予定はない」の割合が高い項目は、「(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する」「(12) 生ごみのコンポスト(たい肥)化機器を使用する」「(17) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている」となっています。
- ・年代別に見ると、「(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する」は、10～20代の割合が、「(19) 地元産の農作物などを積極的に購入し地産地消に努めている」「(20) ガーデニングや緑のカーテン等により、家の敷地周りの緑化をする」は、50～60代や70代以上の割合がほかの世代より高い傾向にあります。
- ・平成2(2009)年実施時と比べると、全体的に「実施している」「ある程度実施している」の割合が高くなっています。特に、「(7) 不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う」については、「実施している」「ある程度実施している」の割合が大幅に上昇しており、取組が浸透していると考えられます。

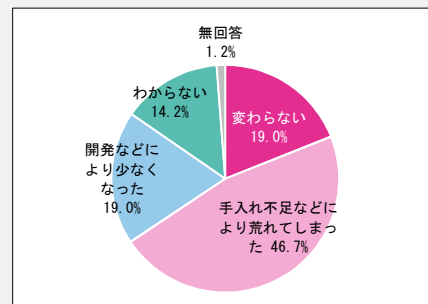
<お住まいの地域の環境について>

- ・お住まいの地域の環境に対する関心は、「関心がある」「やや関心がある」の割合が大半を占めており、お住いの地域の環境への関心が高いことがうかがえます。
- ・年代別に見ると、10～20代は、「やや関心がある」の割合が最も高いものの、次いで「あまり関心がない」の割合が高く、他の世代より関心が低い傾向にあります。



【お住まいの地域の環境に対する関心 (年代別)】

- ・お住まいの地域の環境に対する満足度について、「満足している」「やや満足している」の割合が高い項目は、空気のきれいさ、緑の豊かさ、自然とふれあう場所が多いとなっており、回答者の大半が満足しています。
- ・一方、「不満である」「やや不満である」の割合が高い項目は、歴史との接しやすさ(文化遺産や伝統行事にふれあう機会など)、環境学習を学べる場所がある、自然エネルギー(ソーラーパネルや薪ストーブなど)が積極的に利用されているとなっています。
- ・平成2(2009)年実施時と比べると、全体的に「やや満足している」「満足している」の割合が高くなっています。
- ・「暮らしの安全性」については、「やや満足している」「満足している」の割合が平成2(2009)年実施時より低下しており、近年多発する集中豪雨などによる災害が影響している可能性があります。
- ・地域の身近な自然(里山、田んぼなど)について、10年前と比較すると、「手入れ不足などにより荒れてしまった」が最も高く46.7%で、次いで「開発などにより少なくなった」が19.0%と高くなっています。



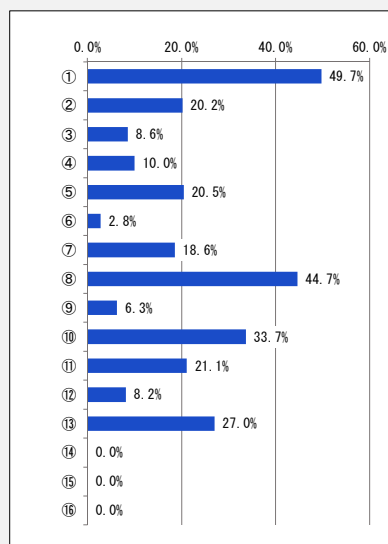
【地域の身近な自然について、10年前と比較】

- ・将来残しておきたいと思う場所について、「ある」が33.3%、「ない」が41.0%となっており、将来残しておきたい場所がない回答者が多くなっています。
- ・将来残しておきたい具体的な場所としては、大堰川や由良川、小向山などが多くなっています。
- ・一方、改善したいと思う場所について、「ある」が25.1%、「ない」が43.3%となっており、改善したい場所がない回答者が多くなっています。
- ・改善したい具体的な場所としては、園部川や美山町内の廃屋（空き家）などが多くなっています。

＜南丹市全体の環境について＞

- ・将来の環境のイメージとして1番目に望むイメージは、「空気・水のおいしいまち」が最も高く28.9%で、次いで「豊かな自然を大切にすまち」が19.0%と高くなっています。
- ・市に重点的に進めてほしい施策は、「水環境を守る」が最も高く回答者の49.7%が選択しており、次いで「豊かな自然環境の保全」が44.7%と高くなっています。

① 水環境を守る	372	49.7%
② 大気環境を守る	151	20.2%
③ 騒音・振動の低減	64	8.6%
④ 悪臭・土壌汚染等の改善	75	10.0%
⑤ 美しい街並み景観の誘導	153	20.5%
⑥ 光害(ネオンなど、照明の害)への改善	21	2.8%
⑦ 歴史・伝統文化の保全	139	18.6%
⑧ 豊かな自然環境の保全	334	44.7%
⑨ 身近な生き物とふれあえる環境づくり	47	6.3%
⑩ 不法投棄の取り締まりの強化	252	33.7%
⑪ ごみの減量化とリサイクルに向けた取組	158	21.1%
⑫ 環境教育の推進	61	8.2%
⑬ 地球環境の保全	202	27.0%
⑭ 環境の情報提供の推進	0	0.0%
⑮ 環境保全活動に取り組む住民・事業者に対する支援	0	0.0%
⑯ その他	0	0.0%
無回答	372	49.7%
合計	2401	-

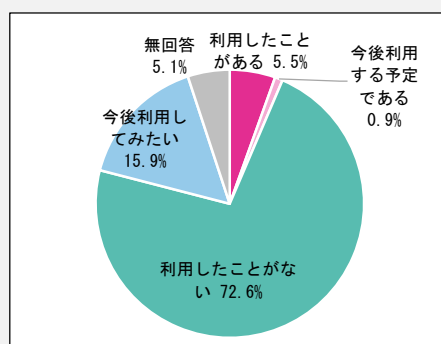


【市に重点的に進めてほしい施策】

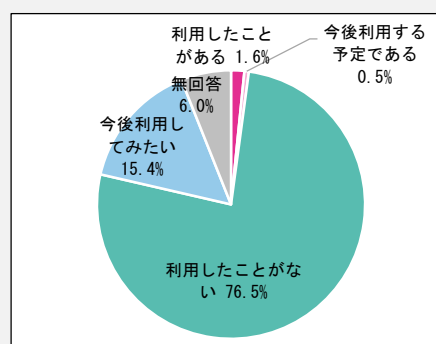
- ・市民が主体となって進めていくことが望ましい取組は、「食品ロス（食べられるのに捨てられてしまう食品）の削減運動」が最も高く回答者の56.4%が選択しており、次いで「環境美化運動」が55.7%と高くなっています。
- ・地域の環境を守るために参加してみたい活動としては、「環境保全活動（草刈り清掃等）」が最も高く回答者の38.1%が選択しており、次いで「リサイクル活動（地域からでるごみを極力リサイクルしていく活動）」が36.0%と高くなっています。
- ・河川・水辺環境を守るために参加してみたい活動としては、「清掃や草刈りなどの維持・管理など」が最も高く30.9%で、次いで「関心はあるが参加したいと思わない」が26.9%と高くなっています。
- ・市内の森林について、今後どのような姿にしていくべきかでは、「保水力の高い広葉樹が中心となる森林」が最も高く38.8%で、次いで「森林公園なお、人が親しみやすいように整備された森林」が34.6%と高くなっています。

<地球温暖化に関する意識について>

- ・環境に配慮した住宅について、「予定はないが導入してみたい」が最も高く 51.3%で、次いで「すでに導入している」が 28.1%と高くなっています。
- ・環境に配慮した設備について、導入率が高いのは LED 照明、ヒートポンプ給湯器（エコキュート等）、複層ガラスサッシ・二重窓となっています。
- ・市が行っている住宅用太陽光発電設備・住宅用蓄電設備の設置についての補助について、「利用したことがない」が最も高く大半を占めているものの、「今後利用してみたい」を見てみると 15.9%を占めており、利用を検討している回答者が一定数いることがうかがえます。
- ・薪・ペレットストーブ設置についての補助についても同様に「利用したことがない」が最も高く大半を占めているものの、「今後利用してみたい」が 15.4%を占めています。



【住宅用太陽光発電設備・住宅用蓄電設備の設置補助】



【薪・ペレットストーブ設置補助】

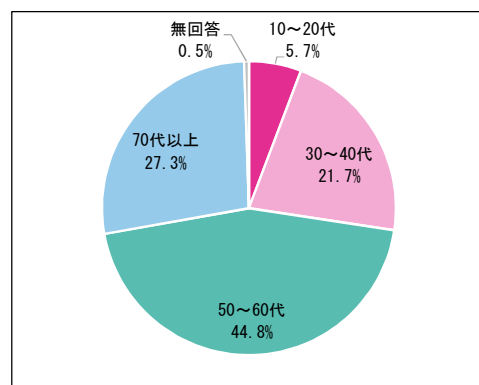
- ・今後、エネルギーの効率的利用・省エネルギー化を進める上で重要だと思う取組としては、「庁舎や公共施設における、積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入」が最も高く回答者の 49.2%が選択しており、次いで「省エネルギー型の設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実」が 43.7%と高くなっています。

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

1) 年齢

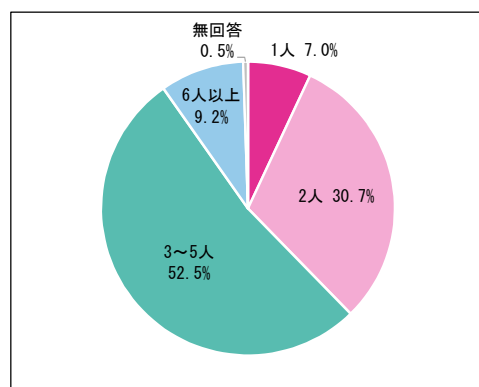
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 10～20代	43	5.7%
② 30～40代	162	21.7%
③ 50～60代	335	44.8%
④ 70代以上	204	27.3%
無回答	4	0.5%
合計	748	100.0%



・「50～60代」が最も高く 44.8%で、次いで「70代以上」が 27.3%と高くなっています。

2) 家族の人数

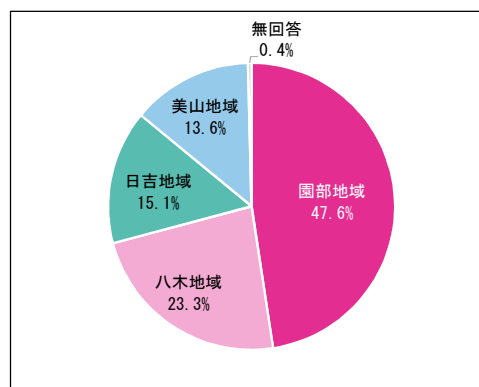
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 1人	52	7.0%
② 2人	230	30.7%
③ 3～5人	393	52.5%
④ 6人以上	69	9.2%
無回答	4	0.5%
合計	748	100.0%



・「3～5人」が最も高く 52.5%で、次いで「2人」が 30.7%と高くなっています。

3) お住まいの地域

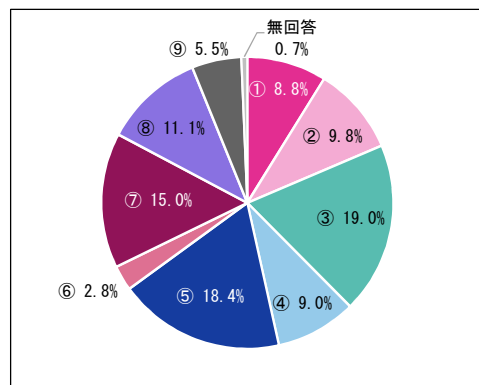
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 園部地域	356	47.6%
② 八木地域	174	23.3%
③ 日吉地域	113	15.1%
④ 美山地域	102	13.6%
無回答	3	0.4%
合計	748	100.0%



・「園部地域」が最も高く 47.6%で、次いで「八木地域」が 23.3%と高くなっています。

4) 職業

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 農林漁業	66	8.8%
② 自営業及びその家族従事者	73	9.8%
③ 会社員・団体職員など	142	19.0%
④ 公務員、教員など	67	9.0%
⑤ パート・アルバイト	138	18.4%
⑥ 学生	21	2.8%
⑦ 家事専業	112	15.0%
⑧ 無職(休職中を含む)	83	11.1%
⑨ その他	41	5.5%
無回答	5	0.7%
合計	748	100.0%



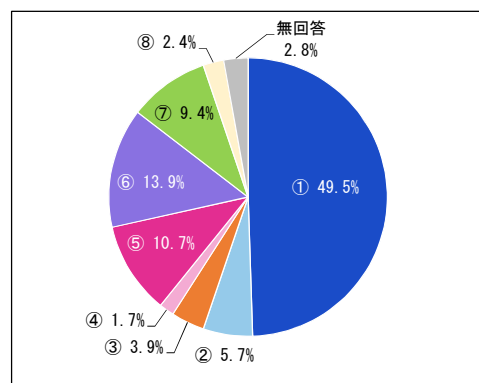
・「会社員・団体職員など」が最も高く 19.0%で、次いで「パート・アルバイト」が 18.4%と高くなっています。

2 環境に対する考えや意識について

1) 最も重要であるとする環境問題

<全体>

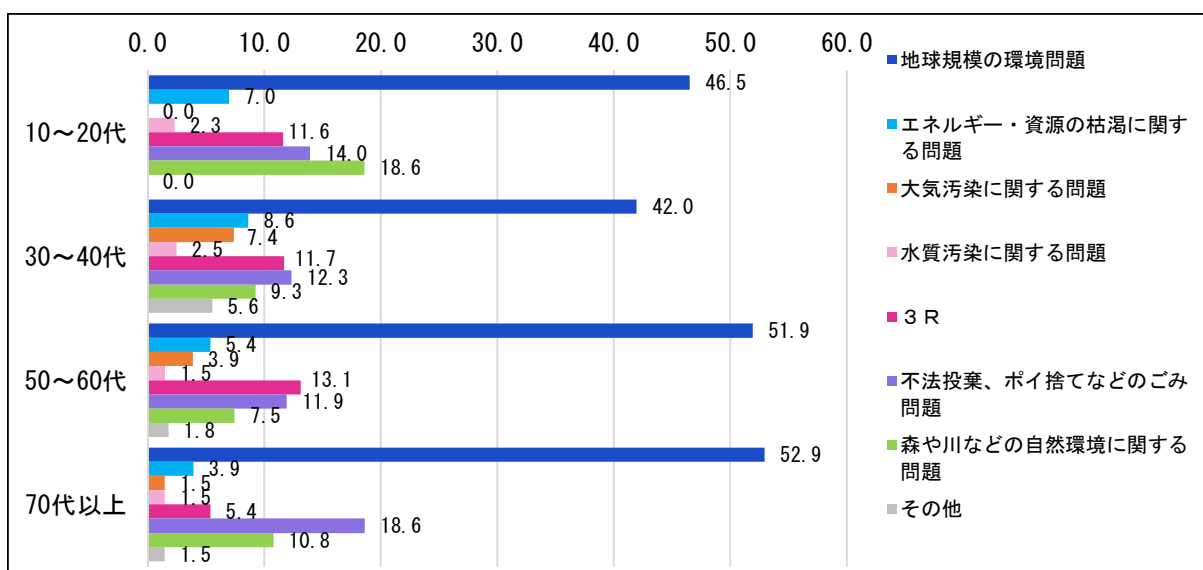
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題	370	49.5%
② エネルギー・資源の枯渇に関する問題	43	5.7%
③ 大気汚染に関する問題	29	3.9%
④ 水質汚濁に関する問題	13	1.7%
⑤ 3R（リデュース：減らす、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）	80	10.7%
⑥ 不法投棄、ポイ捨てなどのごみ問題	104	13.9%
⑦ 森や川などの自然環境に関する問題	70	9.4%
⑧ その他	18	2.4%
無回答	21	2.8%
合計	748	100.0%



・「地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題」が 49.5%と全体の約半数を占めており、次いで「不法投棄、ポイ捨てなどのごみ問題」が 13.9%と高くなっています。

・どの年齢層においても、「地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題」が約 42%～53%と高くなっています。

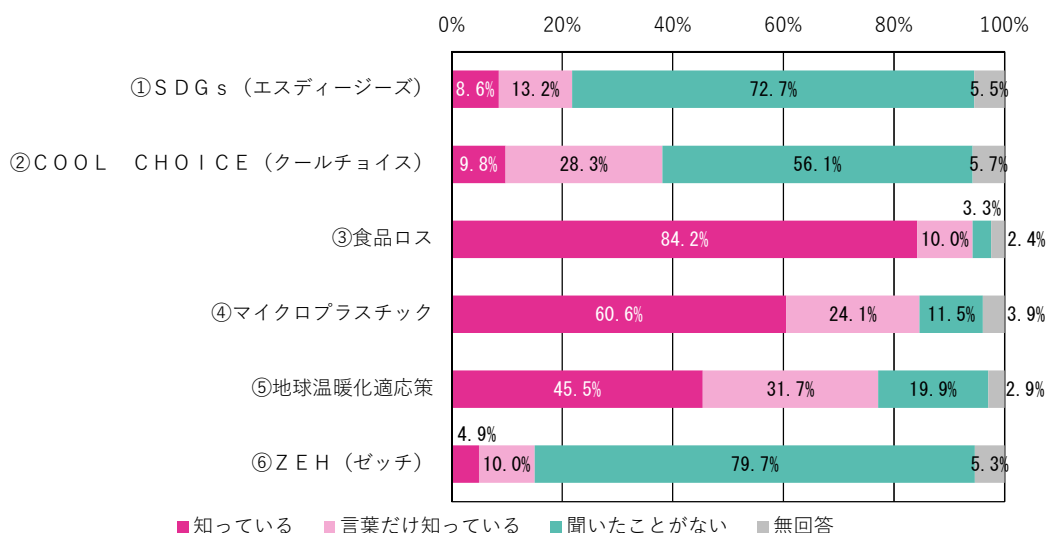
<年齢別>



2) 環境に関する用語の認知度

<全体>

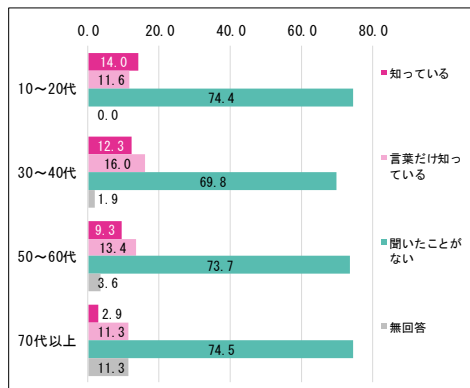
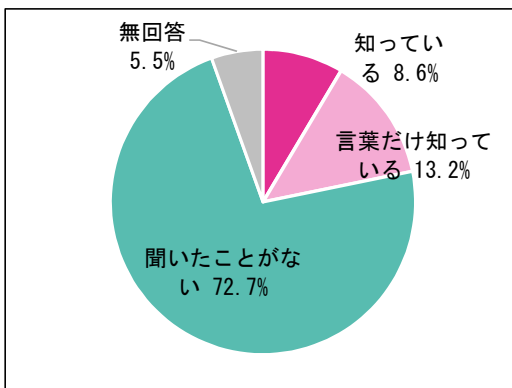
	知っている	言葉だけ知っている	聞いたことがない	無回答	合計
①SDGs	64	99	544	41	748
②COOL CHOICE	73	212	420	43	748
③食品ロス	630	75	25	18	748
④マイクロプラスチック	453	180	86	29	748
⑤地球温暖化適応策	340	237	149	22	748
⑥ZEH (ゼッチ)	37	75	596	40	748



- ・「食品ロス」「マイクロプラスチック」「地球温暖化適応策」は、「知っている」「言葉だけ知っている」が大半を占めており、認知度が高くなっています。
- ・一方、「SDGs」「COOL CHOICE」「ZEH」については、いずれも「聞いたことがない」が大半を占めており、認知度が低くなっています。

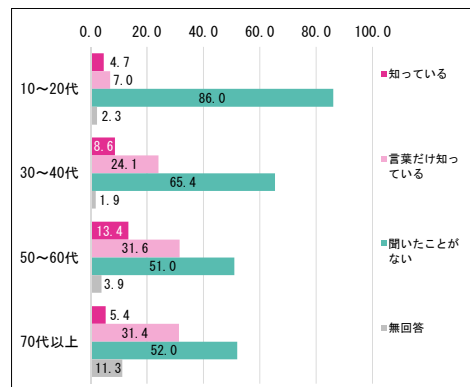
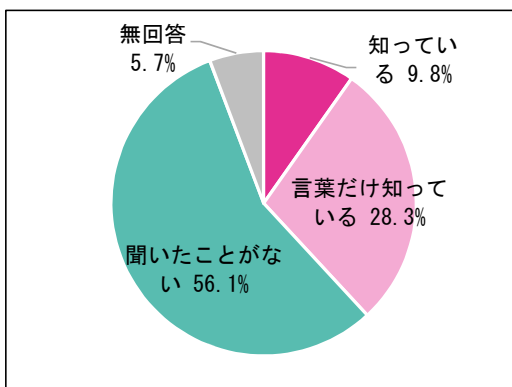
<詳細>

■SDGs



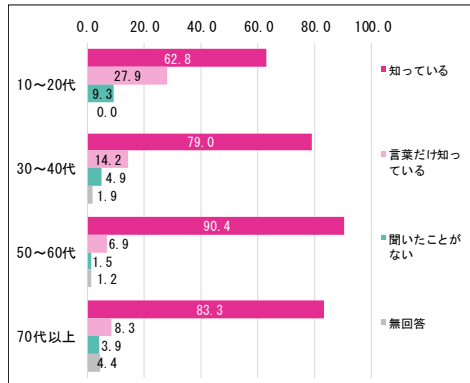
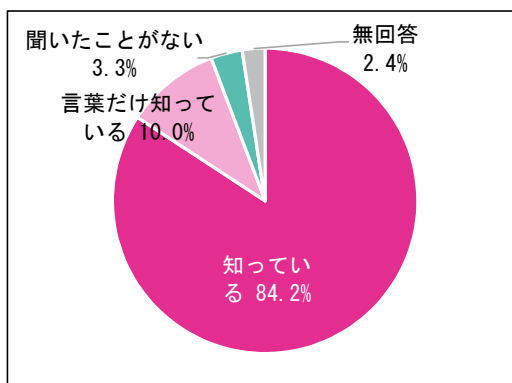
- ・「聞いたことがない」が72.7%と全体の大半を占めています。
- ・「知っている」の割合は、10~20代、30~40代など若い世代の方が高くなっています。

■COOL CHOICE



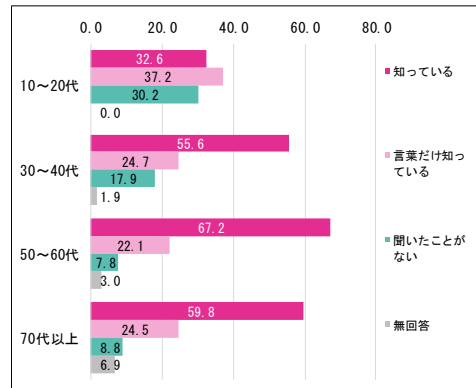
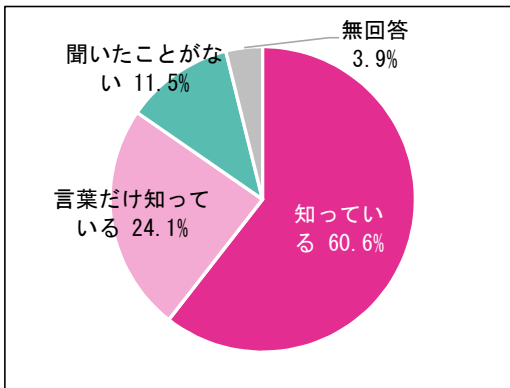
- ・「聞いたことがない」が56.1%と全体の約半数を占めています。
- ・「聞いたことがない」の割合は10~20代が最も高くなっています。

■食品ロス



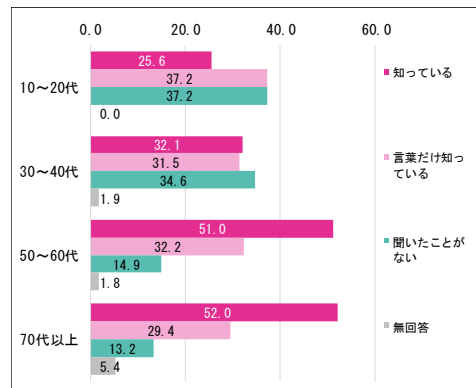
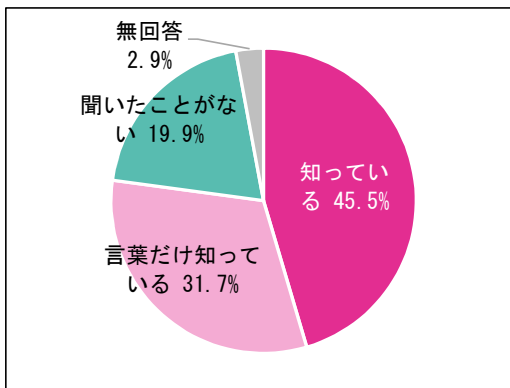
- ・「知っている」が84.2%と全体の大半を占めています。
- ・「聞いたことがない」の割合は10~20代が最も高くなっています。

■ マイクロプラスチック



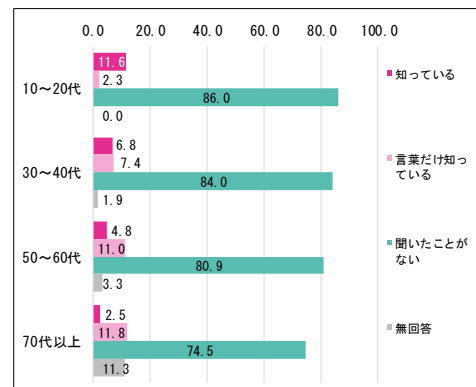
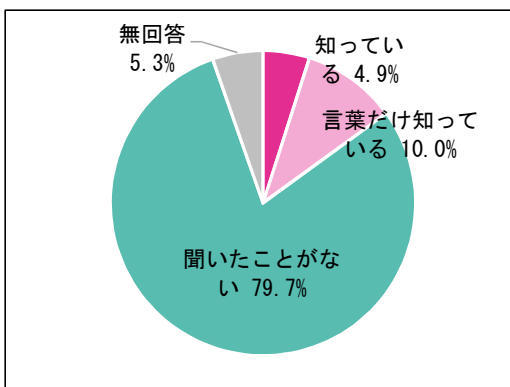
- ・「知っている」が60.6%と全体の約半数を占めています。
- ・「聞いたことがない」の割合は10~20代が最も高くなっています。

■ 地球温暖化適応策



- ・「知っている」が45.5%と最も高くなっています。
- ・10~20代、30~40代など若い世代の方が「聞いたことがない」の割合が高くなっています。

■ ZEH

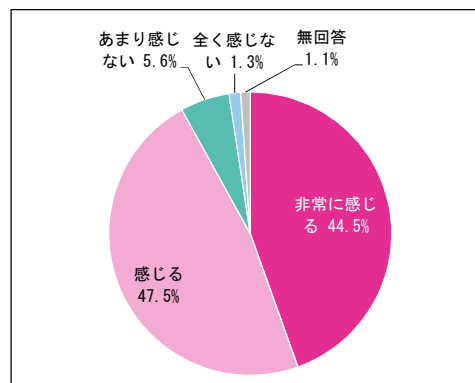


- ・「聞いたことがない」が79.7%と全体の大半を占めています。
- ・「知っている」の割合は10~20代が最も高くなっています。

3) 「地球温暖化が進んでいる」という実感

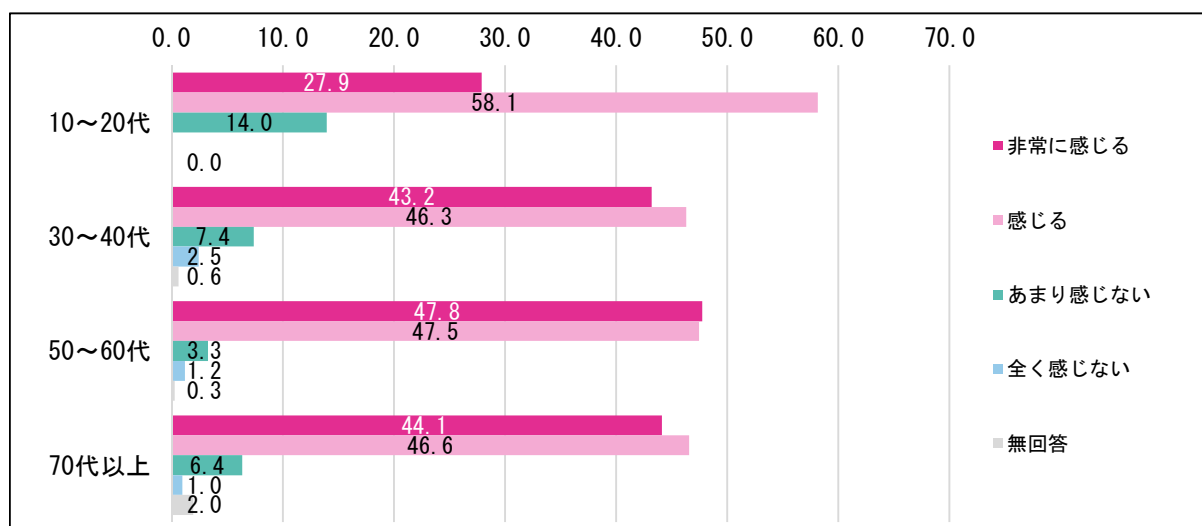
<全体>

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 非常に感じる	333	44.5%
② 感じる	355	47.5%
③ あまり感じない	42	5.6%
④ 全く感じない	10	1.3%
無回答	8	1.1%
合計	748	100.0%



・「非常に感じる」「感じる」が大半を占めており、「あまり感じない」「全く感じない」は6.9%と低くなっています。

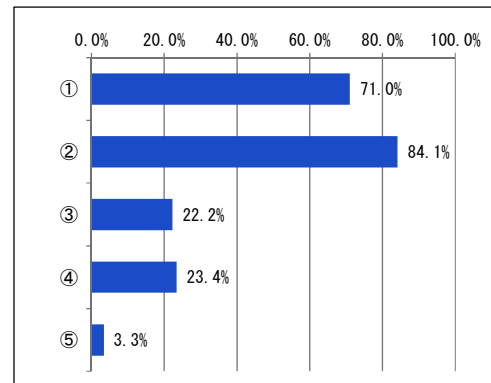
<年齢別>



・どの年齢層においても、「非常に感じる」「感じる」の割合が高くなっています。
 ・10~20代は、他の世代と比べて「あまり感じない」の割合が高くなっています。

4) 「①非常に感じる」「②感じる」と答えた方について、どういふことで温暖化を感じるか
(複数回答)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 猛暑日の増加	531	71.0%
② 自然災害や異常気象の増加	629	84.1%
③ 食物の不作	166	22.2%
④ 身の回りの生態系の変化	175	23.4%
⑤ その他	25	3.3%
無回答	6	0.8%
合計	1532	

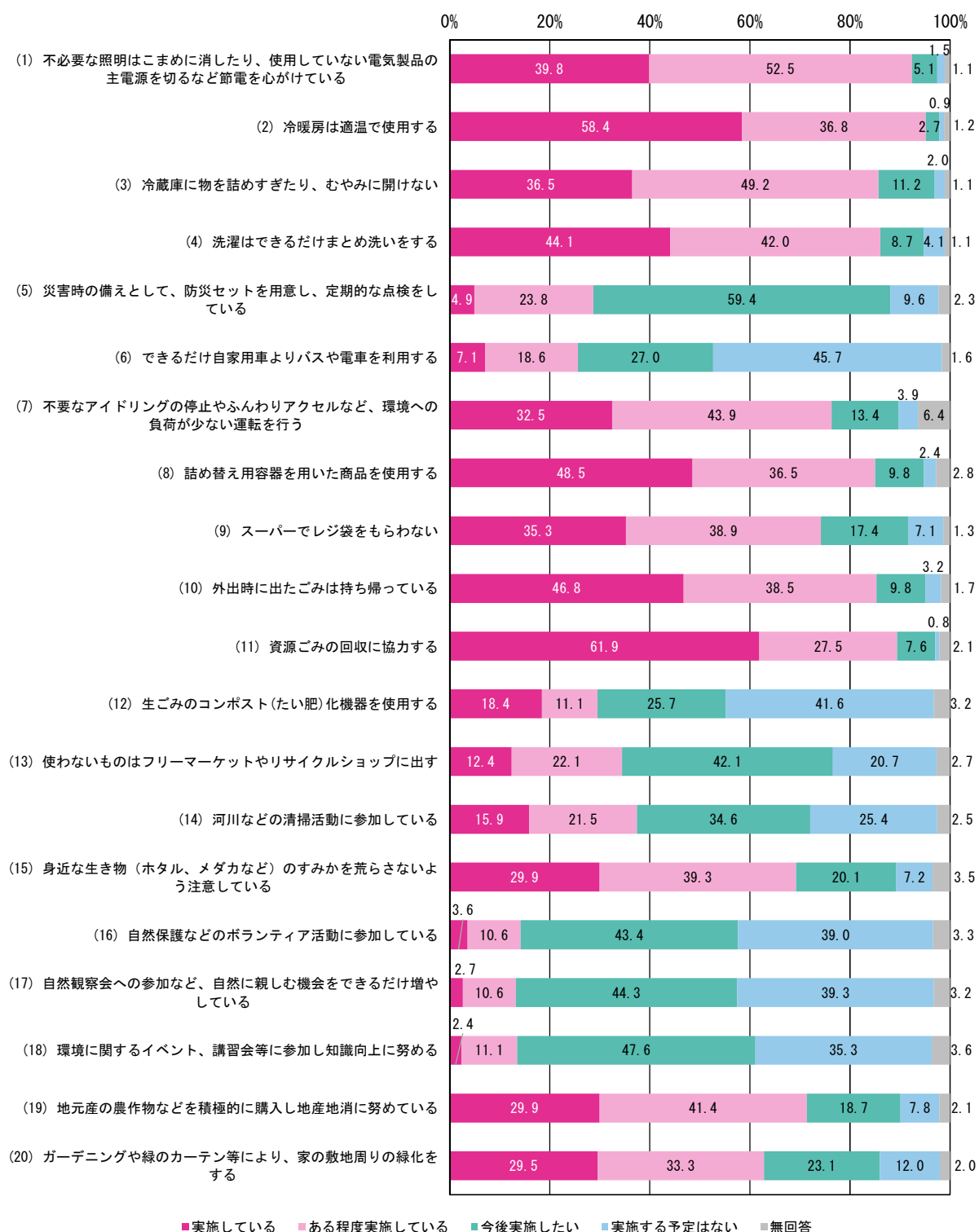


・「自然災害や異常気象の増加」が最も高く回答者の84.1%が選択しており、次いで「猛暑日の増加」が71.0%と高くなっています。

3 日常生活における環境に配慮した行動の実施状況

<全体>

	実施している	ある程度実施している	今後実施したい	実施する予定はない	無回答	合計
(1) unnecessary照明はこまめに消したり、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている	298	393	38	11	8	748
(2) 冷暖房は適温で使用する	437	275	20	7	9	748
(3) 冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	273	368	84	15	8	748
(4) 洗濯はできるだけまとめ洗いをする	330	314	65	31	8	748
(5) 災害時の備えとして、防災セットを用意し、定期的な点検をしている	37	178	444	72	17	748
(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する	53	139	202	342	12	748
(7) 不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う	243	328	100	29	48	748
(8) 詰め替え用容器を用いた商品を使用する	363	273	73	18	21	748
(9) スーパーでレジ袋をもらわない	264	291	130	53	10	748
(10) 外出時に出たごみは持ち帰っている	350	288	73	24	13	748
(11) 資源ごみの回収に協力する	463	206	57	6	16	748
(12) 生ごみのコンポスト(たい肥)化機器を使用する	138	83	192	311	24	748
(13) 使わないものはフリーマーケットやリサイクルショップに出す	93	165	315	155	20	748
(14) 河川などの清掃活動に参加している	119	161	259	190	19	748
(15) 身近な生き物(ホタル、メダカなど)のすみかを荒らさないよう注意している	224	294	150	54	26	748
(16) 自然保護などのボランティア活動に参加している	27	79	325	292	25	748
(17) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている	20	79	331	294	24	748
(18) 環境に関するイベント、講習会等に参加し知識向上に努める	18	83	356	264	27	748
(19) 地元産の農作物などを積極的に購入し地産地消に努めている	224	310	140	58	16	748
(20) ガーデニングや緑のカーテン等により、家の敷地周りの緑化をする	221	249	173	90	15	748

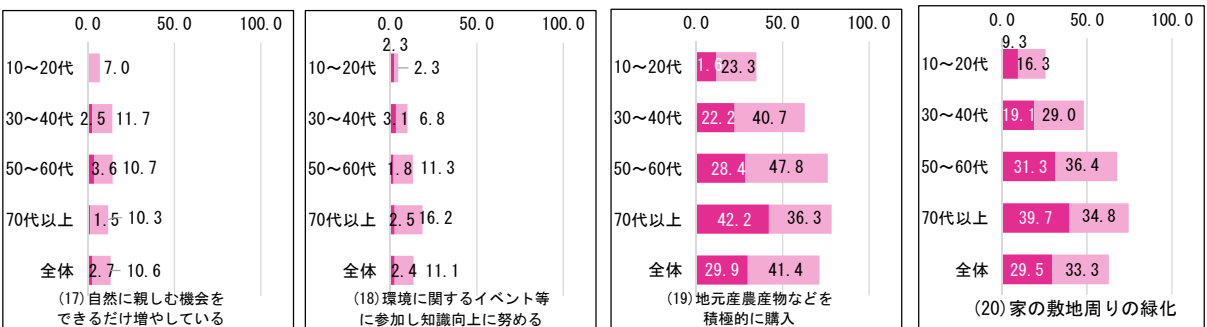
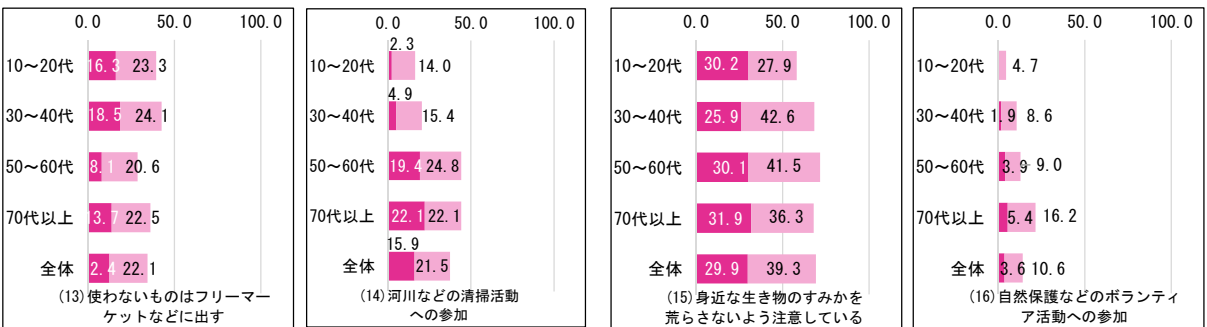
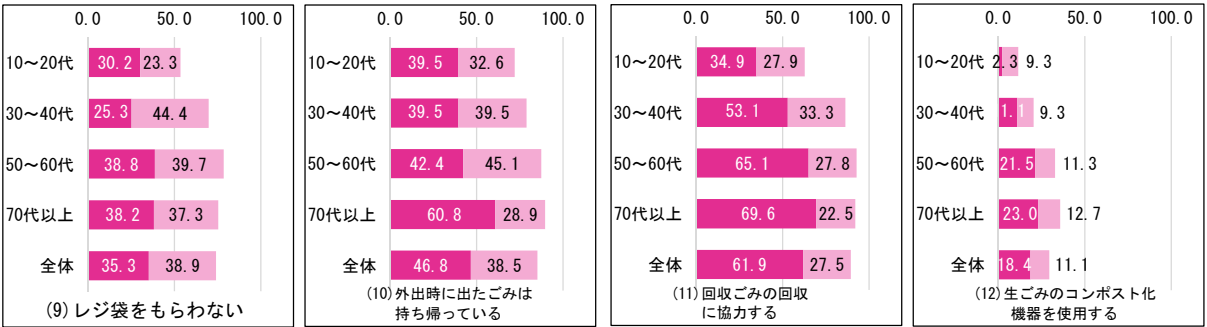
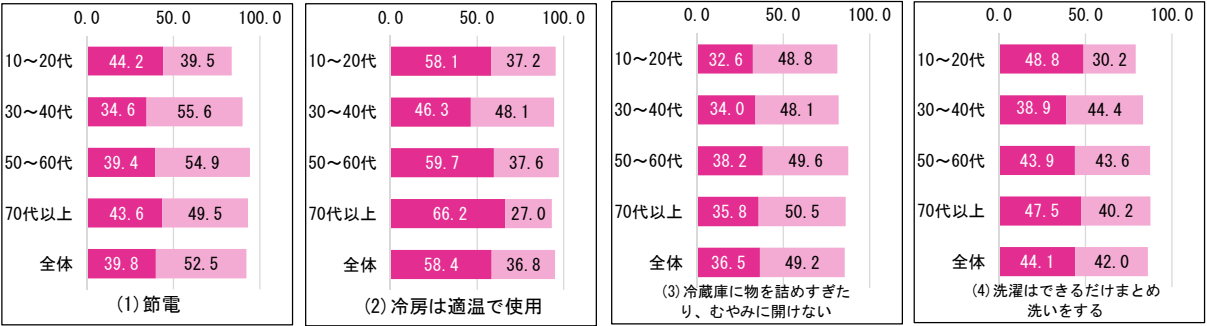


・「実施している」「ある程度実施している」の割合が高い項目は、「(1) unnecessary照明はこまめに消したり、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている」「(2) 冷暖房は適温で使用する」「(11) 資源ごみの回収に協力する」となっており、回答者の大半が実施しています。

・一方、「実施する予定はない」の割合が高い項目は、「(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する」「(12) 生ごみのコンポスト(たい肥)化機器を使用する」「(17) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている」となっています。

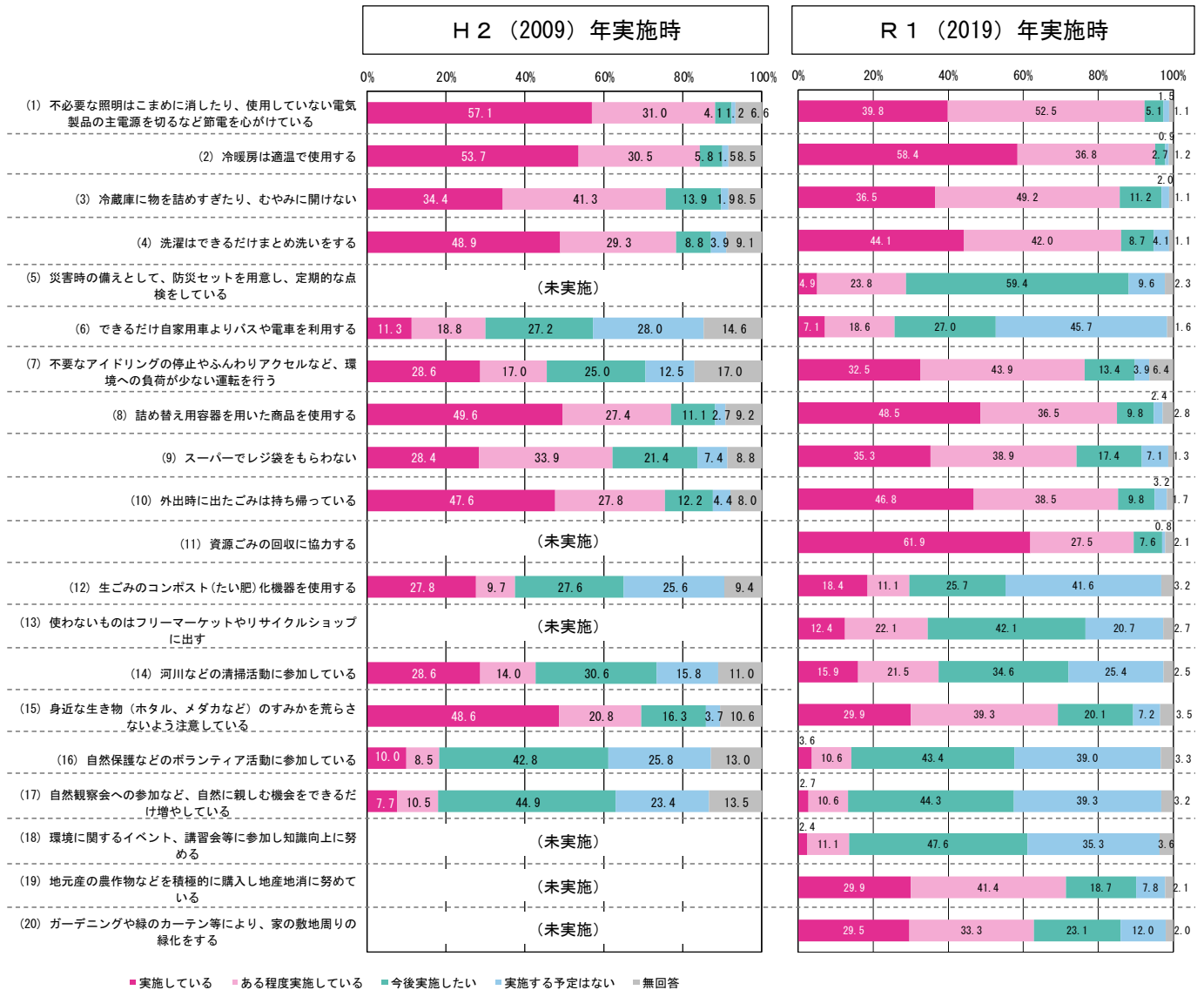
■実施している
■ある程度実施している

<年齢別>



- ・「(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する」は、10～20代の割合が高くなっています。
- ・一方、「(19) 地元産の農作物などを積極的に購入し地産地消に努めている」「(20) ガーデニングや緑のカーテン等により、家の敷地周りの緑化をする」は、50～60代や70代以上の割合が高くなっています。

<過去との比較>



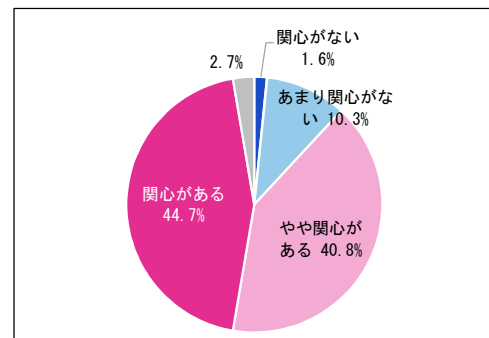
- ・全体的に「実施している」「ある程度実施している」の割合はH 2 (2009) 年実施時より高い傾向にあります。
- ・「(7) 不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う」については、「実施している」「ある程度実施している」の割合がH 2 (2009) 年実施時より大幅に上昇しており、取組が普及していると考えられます。
- ・一方、「(14) 河川などの清掃活動に参加している」や「(16) 自然保護などのボランティア活動に参加している」など地域活動については、「実施している」「ある程度実施している」の割合がH 2 (2009) 年実施時より低下しています。

4 お住まいの地域の環境について

1) お住まいの地域の環境に対する関心

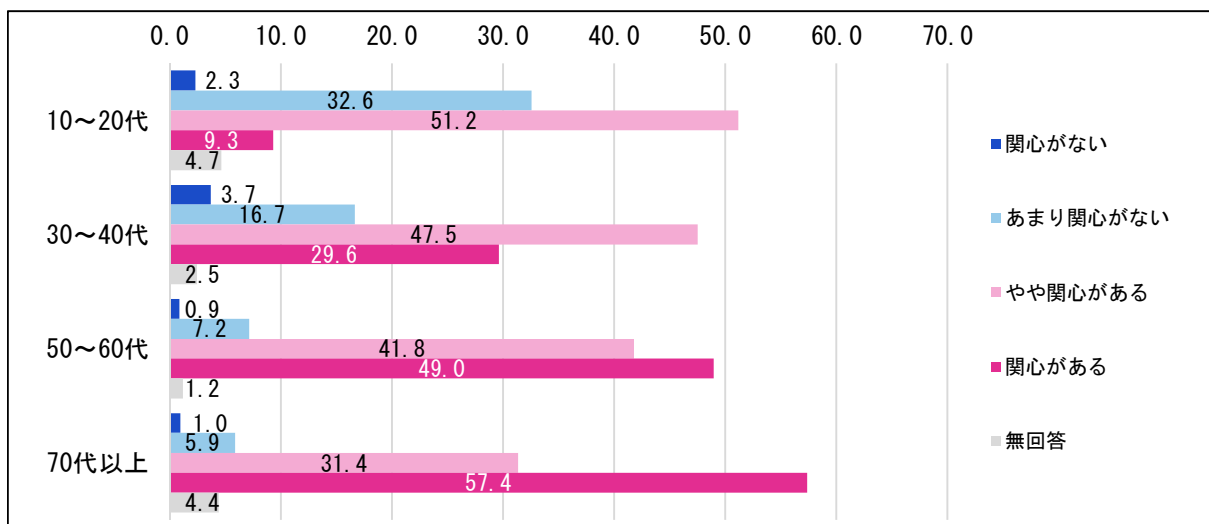
<全体>

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 関心がない	12	1.6%
② あまり関心がない	77	10.3%
③ やや関心がある	305	40.8%
④ 関心がある	334	44.7%
無回答	20	2.7%
合計	748	100.0%



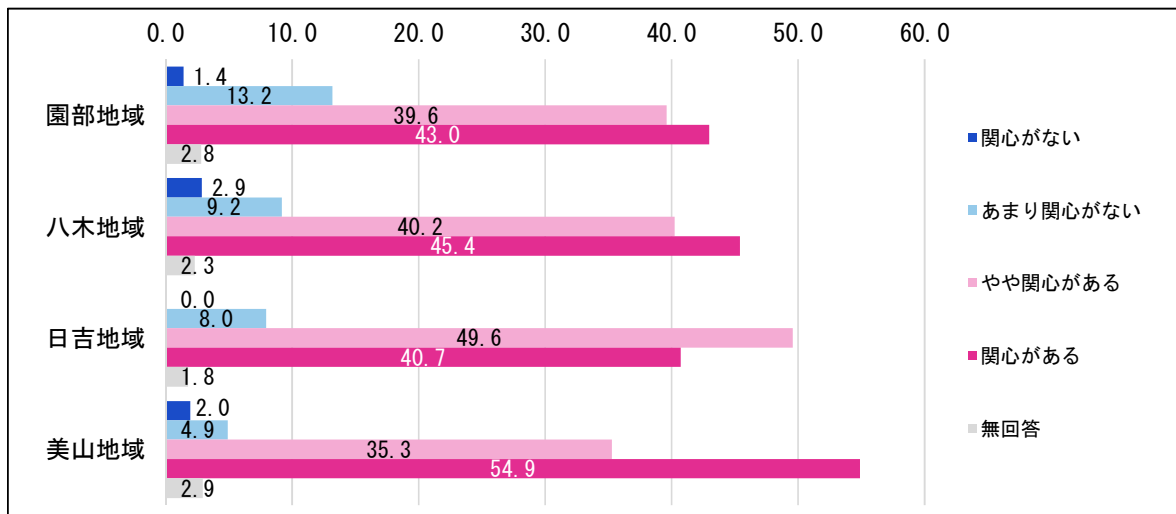
- ・「関心がある」が最も高く 44.7%で、次いで「やや関心がある」が 40.8%と高くなっています。
- ・「関心がある」「やや関心がある」の割合が大半を占めており、お住いの地域の環境への関心が高いことがうかがえます。

<年齢別>



- ・10~20代以外の年齢層においては、「やや関心がある」「関心がある」の割合が高くなっています。
- ・10~20代は、「やや関心がある」の割合が最も高いものの、次いで「あまり関心がない」の割合が高く、他の世代より関心が低い傾向にあります。

<地域別>

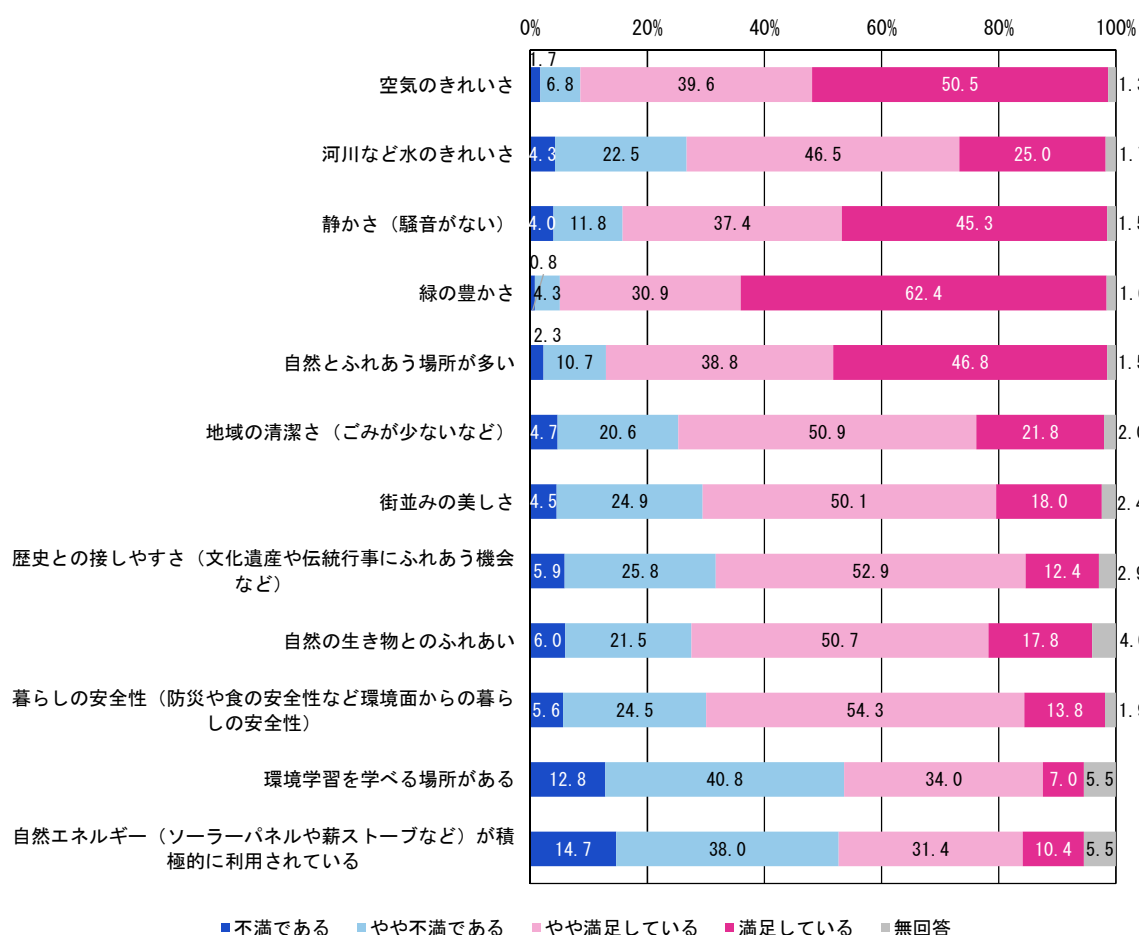


- ・いずれの地域においても、「やや関心がある」「関心がある」の割合が高くなっています。
- ・美山地域は、「関心がある」の割合が最も高く、54.9%を占めています。

2) お住まいの地域の環境に対する満足度

<全体>

	不満である	やや不満である	やや満足している	満足している	無回答	合計
空気のきれいさ	13	51	296	378	10	748
河川など水のきれいさ	32	168	348	187	13	748
静かさ（騒音がない）	30	88	280	339	11	748
緑の豊かさ	6	32	231	467	12	748
自然とふれあう場所が多い	17	80	290	350	11	748
地域の清潔さ（ごみが少ないなど）	35	154	381	163	15	748
街並みの美しさ	34	186	375	135	18	748
歴史との接しやすさ（文化遺産や伝統行事にふれあう機会など）	44	193	396	93	22	748
自然の生き物とのふれあい	45	161	379	133	30	748
暮らしの安全性（防災や食の安全性など環境面からの暮らしの安全性）	42	183	406	103	14	748
環境学習を学べる場所がある	96	305	254	52	41	748
自然エネルギー（ソーラーパネルや薪ストーブなど）が積極的に利用されている	110	284	235	78	41	748



- ・「満足している」「やや満足している」の割合が高い項目は、「空気のきれいさ」「緑の豊かさ」「自然とふれあう場所が多い」となっており、回答者の大半が満足しています。
- ・一方、「不満である」「やや不満である」の割合が高い項目は、「歴史との接しやすさ（文化遺産や伝統行事にふれあう機会など）」「環境学習を学べる場所がある」「自然エネルギー（ソーラーパネルや薪ストーブなど）が積極的に利用されている」となっています。

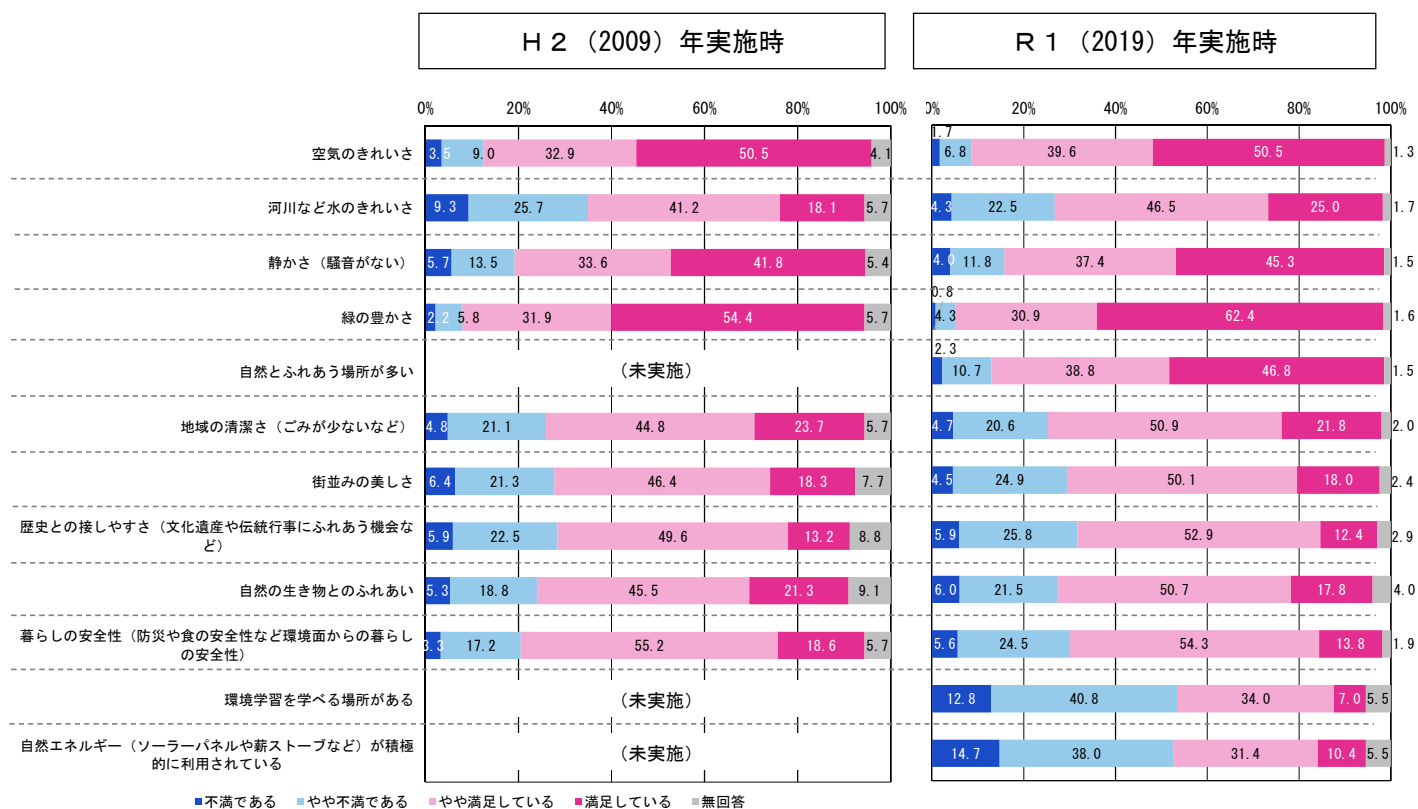
<地域別>

■ 満足している
■ やや満足している



- ・「(2) 河川など水のきれいさ」「(5) 自然とふれあう場所が多い」「(6) 地域の清潔さ」「(7) 街並みの美しさ」では、芦生原生林やかやぶきの里を有する美山地域の「満足している」の割合が他の地域より高い傾向にあります。
- ・「(4) 緑の豊かさ」については、いずれの地域も「満足している」の割合が半数を占めており、満足度が高くなっています。

<過去との比較>

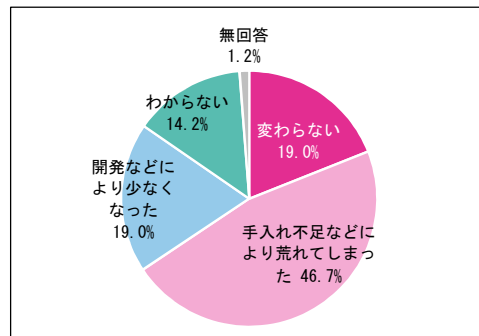


- ・ 全体的に「やや満足している」「満足している」の割合はH 2 (2009) 年実施時より高い傾向にあります。
- ・ 「河川など水のきれいさ」については、「やや満足している」「満足している」の割合がH 2 (2009) 年実施時より 10 ポイント以上上昇しており、満足度が高まっていると考えられます。
- ・ 一方、「暮らしの安全性」については、「やや満足している」「満足している」の割合がH 2 (2009) 年実施時より低下しており、近年多発する集中豪雨などによる災害が影響している可能性があります。

3) 地域の身近な自然（里山、田んぼなど）について、10年前との比較

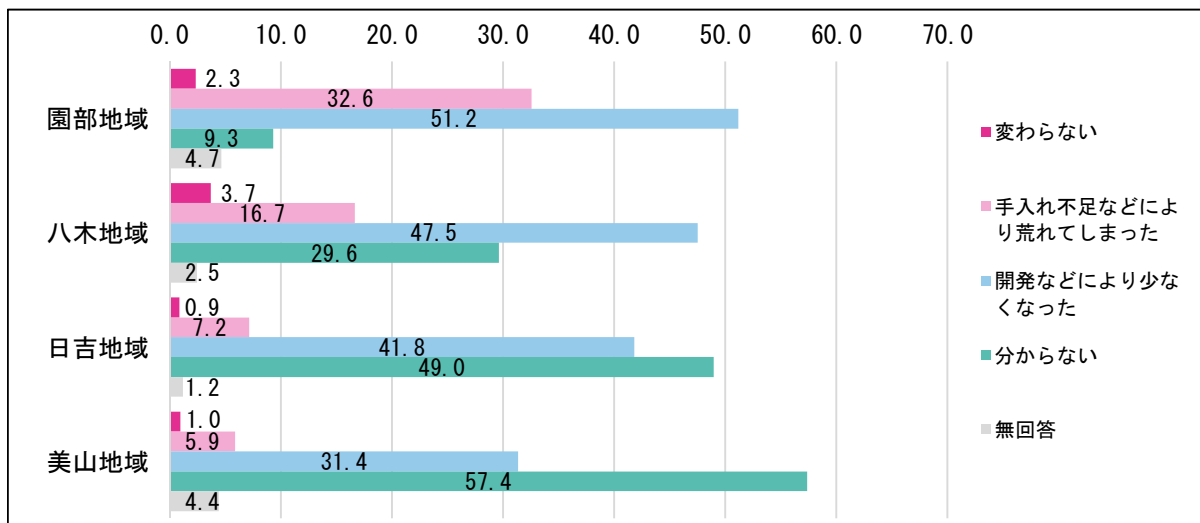
<全体>

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 変わらない	142	19.0%
② 手入れ不足などにより荒れてしまった	349	46.7%
③ 開発などにより少なくなった	142	19.0%
④ わからない	106	14.2%
無回答	9	1.2%
合計	748	100.0%



- ・「手入れ不足などにより荒れてしまった」が最も高く46.7%で、次いで「開発などにより少なくなった」が19.0%と高くなっています。
- ・「手入れ不足などにより荒れてしまった」「開発などにより少なくなった」が全体の半数以上を占めており、10年前より自然が荒廃・減ったと感じる回答者が多くなっています。

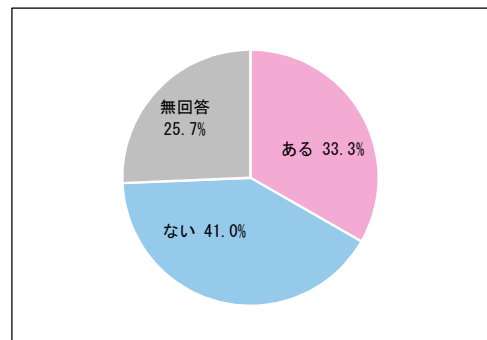
<地域別>



- ・いずれの地域においても、「開発などにより少なくなった」の割合が高い傾向にあります。
- ・園部地域では、他の地域と比べて「手入れ不足などにより荒れてしまった」の割合が32.6%と高くなっています。また、「手入れ不足などにより荒れてしまった」「開発などにより少なくなった」が全体の大半を占めており、他の地域と比べて10年前より自然が荒廃・減ったと感じる回答者が多くなっています。

4) 「将来残しておきたい」と思う場所

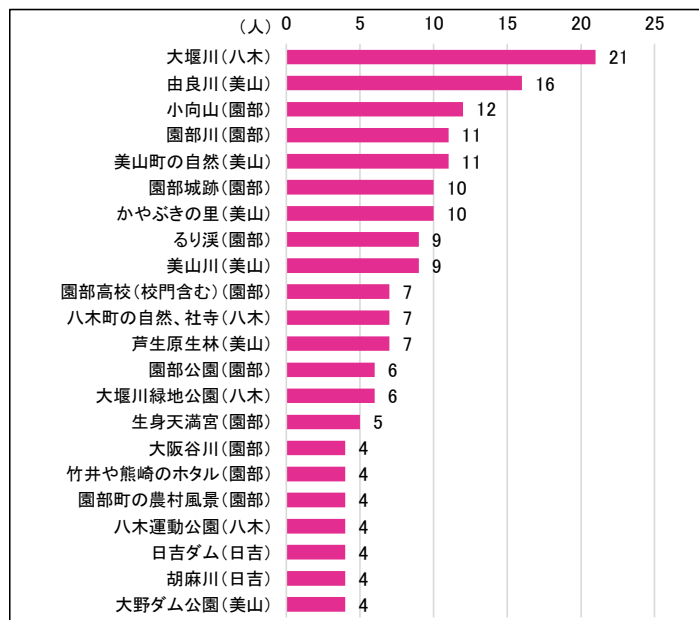
選択肢	回答者数	割合 (%)
① ある	249	33.3%
② ない	307	41.0%
無回答	192	25.7%
合計	748	100.0%



・「ある」が33.3%、「ない」が41.0%となっており、将来残しておきたい場所がない回答者が多くなっています。

<将来残しておきたい具体的な場所>

- ・「大堰川」が最も多く21人で、次いで「由良川」が16人と多くなっています。
- ・残しておきたい自然としては、各地域の河川や公園などが多く挙げられています。
- ・残しておきたい歴史・文化としては、園部城跡やかやぶきの里、生身天満宮などが挙げられています。



※回答者数4人以上の場所を示す

■上位3地点の主な回答理由

大堰川 (八木)	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着ける場所だから ・四季折々美しい ・川幅も広く、自然の川文化が存在し、最も「ふるさと」を感じる ・ホタル、川魚が生息する
由良川 (美山)	<ul style="list-style-type: none"> ・水がきれい ・アユがおいしい ・自然の多様性が見られ、心を癒すから
小向山 (園部)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・小学校の頃、自然と触れ合える身近な場所だったから ・マリオの聖地として

■地域別の将来残しておきたい場所

園部地域

名称	回答数
小向山	12
園部川	11
園部城跡	10
るり溪	9
園部高校（校門含む）	7
園部公園	6
生身天満宮	5
大阪谷川	4
竹井や熊崎のホタル	4
園部町の農村風景	4
摩気神社	3
八田川	3
胎金寺山	2
小山西町の山や田んぼの景色	2

日吉地域

名称	回答数
日吉ダム	4
胡麻川	4
スプリングスひよし（温泉・プール含む）	3
大堰川	2
旧五ヶ荘小学校（イチョウの木含む）	2
胡麻地区	2
保野田周辺のホタル	2

八木地域

名称	回答数
大堰川	21
八木町の自然、社寺	7
大堰川緑地公園	6
八木運動公園	4
東所川	3
城山	2

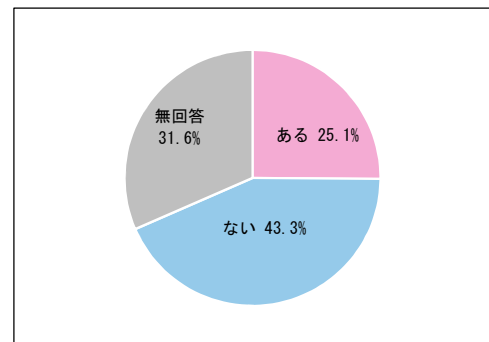
美山地域

名称	回答数
由良川	16
かやぶきの里（茅葺民家含む）	10
美山町の自然	11
美山川	9
芦生原生林	7
大野ダム公園	4
棚野川	3
奈良井の林道沿い	2
美山町の神社	2

※回答者数2人以上の場所を示す

5) 「改善したい」と思う場所

選択肢	回答者数	割合 (%)
① ある	188	25.1%
② ない	324	43.3%
無回答	236	31.6%
合計	748	100.0%

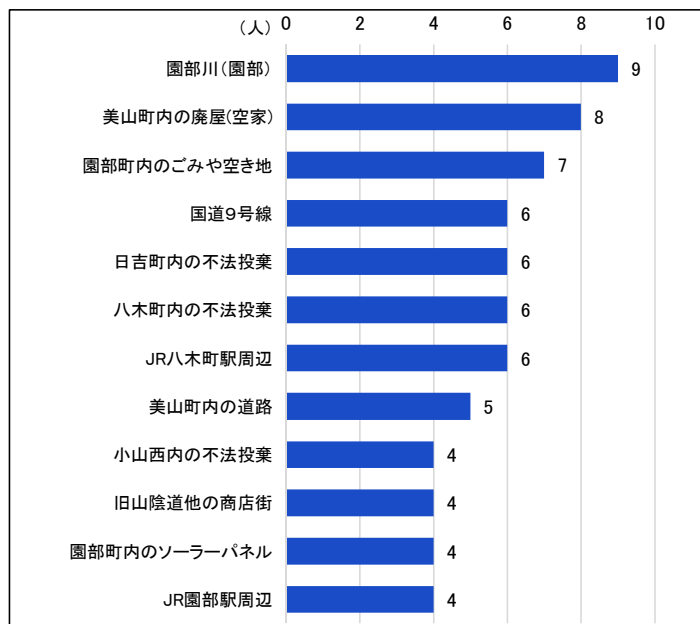


・「ある」が25.1%、「ない」が43.3%となっており、改善したい場所がない回答者が多くなっています。

<改善したい具体的な場所>

・「園部川」が最も多く9人で、次いで「美山町内の廃屋(空家)」が8人と多くなっています。

・改善したい場所としては、各地域の不法投棄や空き地・空き家などが多く挙げられています。



※回答者数4人以上の場所を示す

■上位3地点の主な回答理由

園部川(園部)	<ul style="list-style-type: none"> 排水や河川の護岸工事により生態系が破壊されている ごみがたくさん落ちている 大雨や大風の時、水害が怖い
美山町内の廃屋(空家)	<ul style="list-style-type: none"> 動物のすみかになるし倒壊のおそれもある 景観を損なう。 崩壊寸前の状況で野生動物のすみかになっている
園部町内のごみや空き地	<ul style="list-style-type: none"> 空き地が放置 ごみが多い。 ごみを民家のそばで燃やす人が多い

■地域別の改善したい場所

園部地域

名称	回答数
園部川（ごみが多い）	9
園部町内のごみや空き地	7
国道9号線（道路が狭い、緑が少ない等）	6
小山西町（不法投棄、見通しが悪い）	4
旧山陰道他の商店街（さびれている）	4
ソーラーパネル（景観の悪化、自然破壊）	4
JR園部駅周辺（車のマナーが、ごみ等）	4
陣田川（洪水対策の強化）	3
小山東町（不法投棄）	2
かわせみ橋（街灯が少ない、交通混雑）	2
新世紀トンネル周辺（不法投棄）	2
園部城	2
園部町の公園（草地の管理）	2
天神川（ごみが多い）	2
半田川（ごみが多い）	2
本梅川（不法投棄、洪水対策の強化）	2

日吉地域

名称	回答数
日吉町内の不法投棄	6
農道（沿道の草や側溝の管理）	3
JR日吉駅周辺（道が狭く街灯少ない）	2
ソーラーパネル（景観の悪化、自然破壊）	2
空き家（倒壊の危険性大）	2
胡麻川（小魚少ない、洪水対策の強化）	2

八木地域

名称	回答数
八木町内の不法投棄	6
JR八木町駅周辺（道路が狭い等）	6
八木駅前商店街（さびれている）	3
大堰川（水質が悪化している、不法投棄）	3
わんぱく公園（閉鎖的）	2
板野川（洪水対策の強化）	2
八木町内の農道	2
八木東側方面（街灯の少なさ、家畜の臭い）	2
神吉地区（獣害）	2
北屋賀	2

美山地域

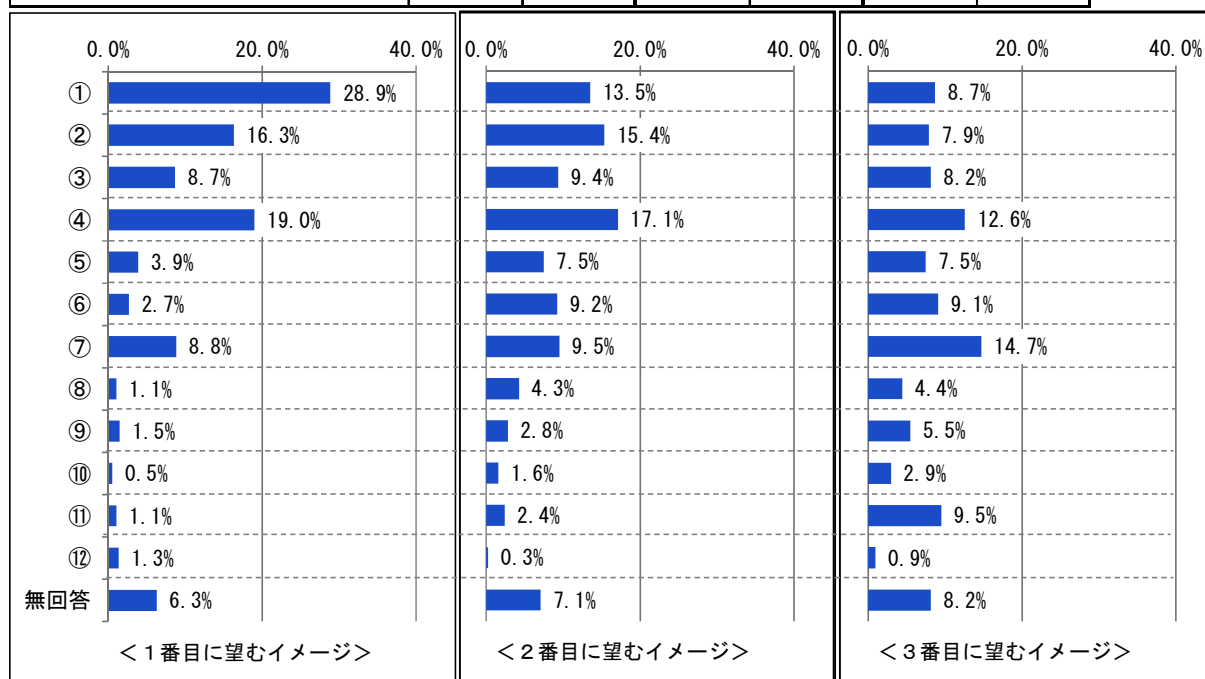
名称	回答数
美山町内の廃屋（空家）	8
美山町内の道路（街灯の少なさ）	5
堀越峠（162号線）（不法投棄）	3
由良川（不法投棄、竹やクズで歩きにくい）	3
美山町内の川（獣害、管理不足）	3
ソーラーパネル	2

※回答者数2人以上の場所を示す

5 南丹市全体の環境について

1) 将来の環境のイメージ

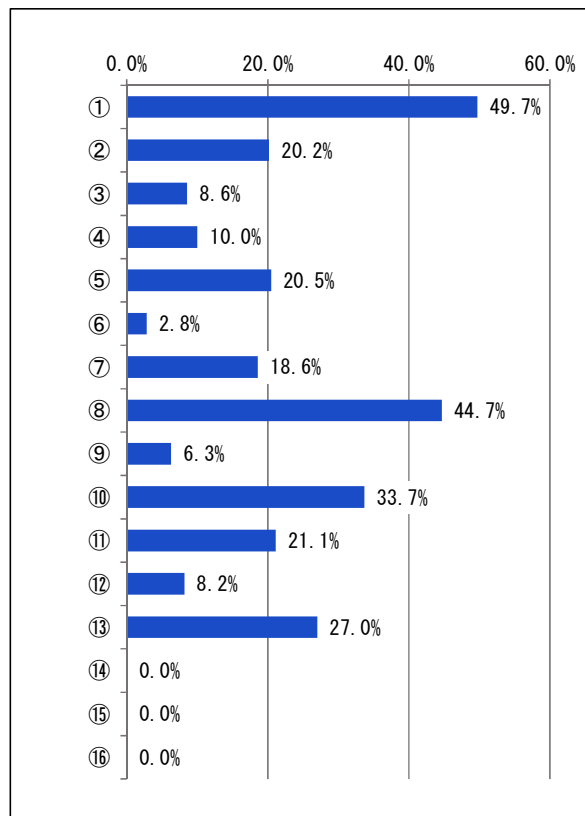
選択肢	1 番目		2 番目		3 番目	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)
① 空気・水のおいしいまち	216	28.9%	101	13.5%	65	8.7%
② 静かで落ち着いた雰囲気のあるまち	122	16.3%	115	15.4%	59	7.9%
③ きれいな星空が見える空気の澄んだまち	65	8.7%	70	9.4%	61	8.2%
④ 豊かな自然を大切にすするまち	142	19.0%	128	17.1%	94	12.6%
⑤ ホタルなど身近な生きものと触れ合えるまち	29	3.9%	56	7.5%	56	7.5%
⑥ 歴史・伝統を大切にすするまち	20	2.7%	69	9.2%	68	9.1%
⑦ ごみのない（少ない）きれいなまち	66	8.8%	71	9.5%	110	14.7%
⑧ リサイクルの盛んなまち	8	1.1%	32	4.3%	33	4.4%
⑨ 省エネルギーに貢献するまち	11	1.5%	21	2.8%	41	5.5%
⑩ バイオマス（家畜排せつ物や薪など）の利用が盛んなまち	4	0.5%	12	1.6%	22	2.9%
⑪ 市民が主体となる環境保全等のボランティア活動の盛んなまち	8	1.1%	18	2.4%	71	9.5%
⑫ その他	10	1.3%	2	0.3%	7	0.9%
無回答	47	6.3%	53	7.1%	61	8.2%
合計	748	100.0%	748	100.0%	748	100.0%



- ・ 1 番目に望むイメージは、「空気・水のおいしいまち」が最も高く 28.9%で、次いで「豊かな自然を大切にすするまち」が 19.0%と高くなっています。
- ・ 2 番目に望むイメージは、「豊かな自然を大切にすするまち」が 17.1%で最も高くなっています。
- ・ 3 番目に望むイメージは、「ごみのない（少ない）きれいなまち」が 14.7%で最も高くなっています。

2) 市に重点的に進めてほしい施策 (複数回答)

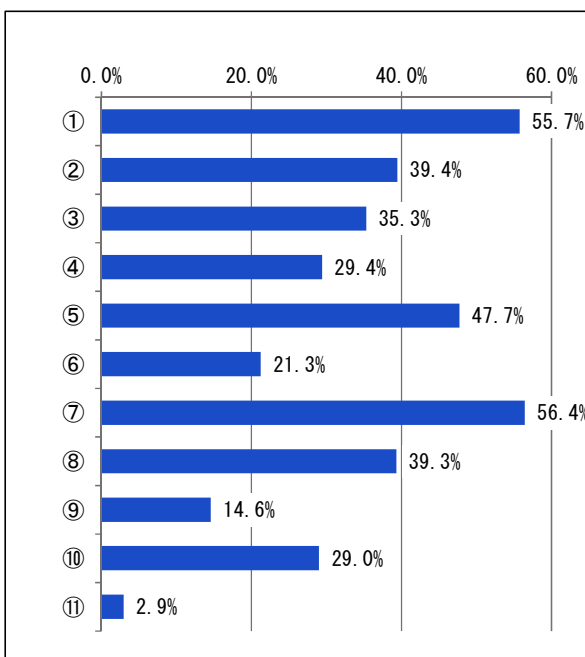
選択肢	回答者数	割合(%)
① 水環境を守る	372	49.7%
② 大気環境を守る	151	20.2%
③ 騒音・振動の低減	64	8.6%
④ 悪臭・土壌汚染等の改善	75	10.0%
⑤ 美しい街並み景観の誘導	153	20.5%
⑥ 光害(ネオンなど、照明の害)への改善	21	2.8%
⑦ 歴史・伝統文化の保全	139	18.6%
⑧ 豊かな自然環境の保全	334	44.7%
⑨ 身近な生き物とふれあえる環境づくり	47	6.3%
⑩ 不法投棄の取り締まりの強化	252	33.7%
⑪ ごみの減量化とリサイクルに向けた取組	158	21.1%
⑫ 環境教育の推進	61	8.2%
⑬ 地球環境の保全	202	27.0%
⑭ 環境の情報提供の推進	0	0.0%
⑮ 環境保全活動に取り組む住民・事業者に対する支援	0	0.0%
⑯ その他	0	0.0%
無回答	372	49.7%
合計	2401	-



・「水環境を守る」が最も高く回答者の49.7%が選択しており、次いで「豊かな自然環境の保全」が44.7%と高くなっています。

3) 市民が主体となって進めていくことが望ましい取組 (複数回答)

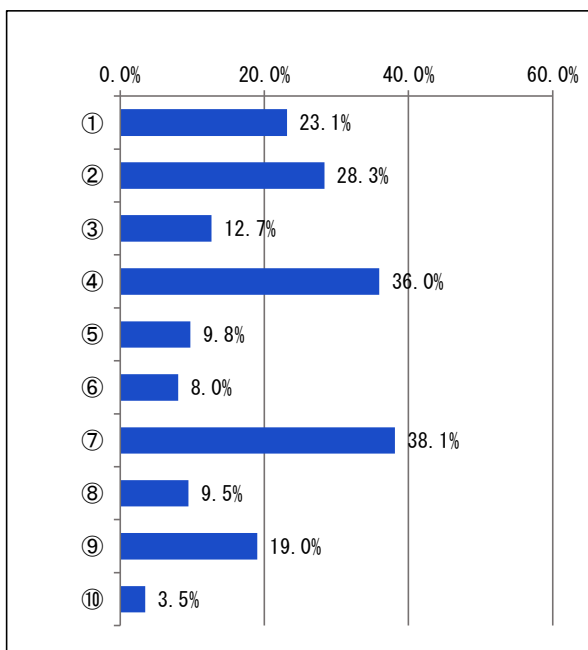
選択肢	回答者数	割合(%)
① 環境美化運動	417	55.7%
② 森づくり運動(植林や森の手入れなど)	295	39.4%
③ 外来種3ない運動(外来種を入れない・捨てない・拡げない)	264	35.3%
④ 花いっぱい運動(自宅の敷地や身近な公園などの緑化)	220	29.4%
⑤ レジ袋削減・マイバッグ持参運動	357	47.7%
⑥ マイボトル・マイ箸の持参運動	159	21.3%
⑦ 食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)の削減運動	422	56.4%
⑧ リサイクル運動	294	39.3%
⑨ エコドライブ運動	109	14.6%
⑩ 省エネ・節電運動	217	29.0%
⑪ その他	22	2.9%
無回答	18	2.4%
合計	2794	-



・「食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)の削減運動」が最も高く回答者の56.4%が選択しており、次いで「環境美化運動」が55.7%と高くなっています。

4) 地域の環境を守るために参加してみたい活動 (複数回答)

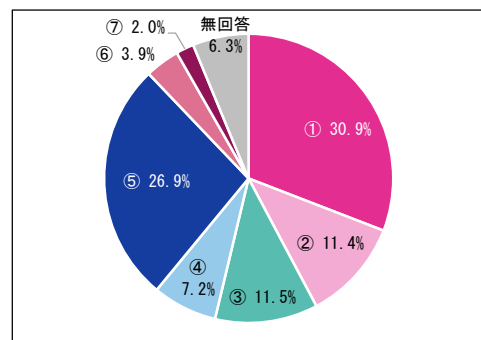
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 自然体験活動 (自然観察会やエコツーリズムに参加する活動)	173	23.1%
② 里山保全活動 (荒れた山林や遊休地を整備する活動)	212	28.3%
③ ビオトープづくり (野生の生き物がすみやすい環境を整備する活動)	95	12.7%
④ リサイクル活動 (地域からでるごみを極力リサイクルしていく活動)	269	36.0%
⑤ 自然エネルギーの活用 (有志者で出資し、ソーラーパネル等を設置し自然エネルギーを活用する活動)	73	9.8%
⑥ バイオマスの活用 (家畜排せつ物を利用した堆肥や薪ストーブを利用する活動)	60	8.0%
⑦ 環境保全活動 (草刈り清掃等)	285	38.1%
⑧ 農業体験活動	71	9.5%
⑨ 特に参加したいとは思わない	142	19.0%
⑩ その他	26	3.5%
無回答	29	3.9%
合計	1435	-



・「環境保全活動 (草刈り清掃等)」が最も高く回答者の38.1%が選択しており、次いで「リサイクル活動 (地域からでるごみを極力リサイクルしていく活動)」が36.0%と高くなっています。

5) 河川・水辺環境を守るために参加してみたい活動

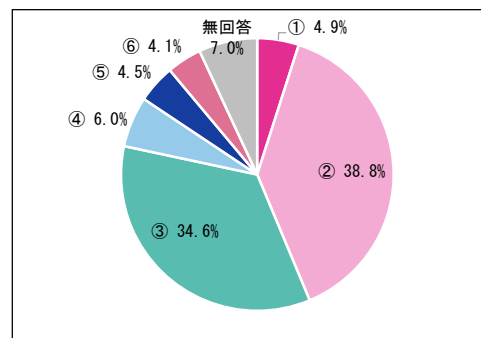
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 清掃や草刈りなどの維持・管理など	231	30.9%
② 川を使った交流イベント	85	11.4%
③ 生息する生き物を守る活動など	86	11.5%
④ 自然観察会など	54	7.2%
⑤ 関心はあるが参加したいと思わない	201	26.9%
⑥ 関心がない	29	3.9%
⑦ その他	15	2.0%
無回答	47	6.3%
合計	748	100.0%



・「清掃や草刈りなどの維持・管理など」が最も高く30.9%で、次いで「関心はあるが参加したいと思わない」が26.9%と高くなっています。

6) 市内の森林について、今後どのような姿にしていくべきか

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 森林経営が盛んに行われ、スギなどの人工林が中心となる森林	37	4.9%
② 保水力の高い広葉樹が中心となる森林	290	38.8%
③ 森林公園など、人が親しみやすいように整備された森林	259	34.6%
④ あまり手入れを行わず、自然のままに任せた森林	45	6.0%
⑤ 市の発展や活性化のために、開発を優先して行う森林	34	4.5%
⑥ その他	31	4.1%
無回答	52	7.0%
合計	748	-

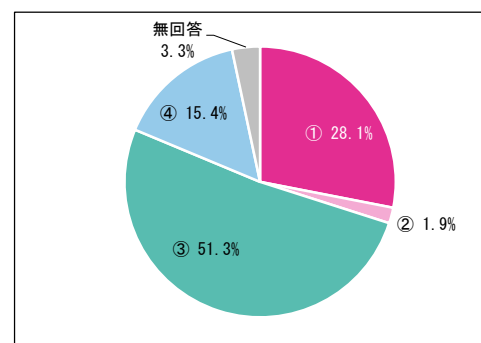


・「保水力の高い広葉樹が中心となる森林」が最も高く 38.8%で、次いで「森林公園なお、人が親しみやすいように整備された森林」が 34.6%と高くなっています。

6 地球温暖化に関する意識について

1) 環境に配慮した住宅への対応状況

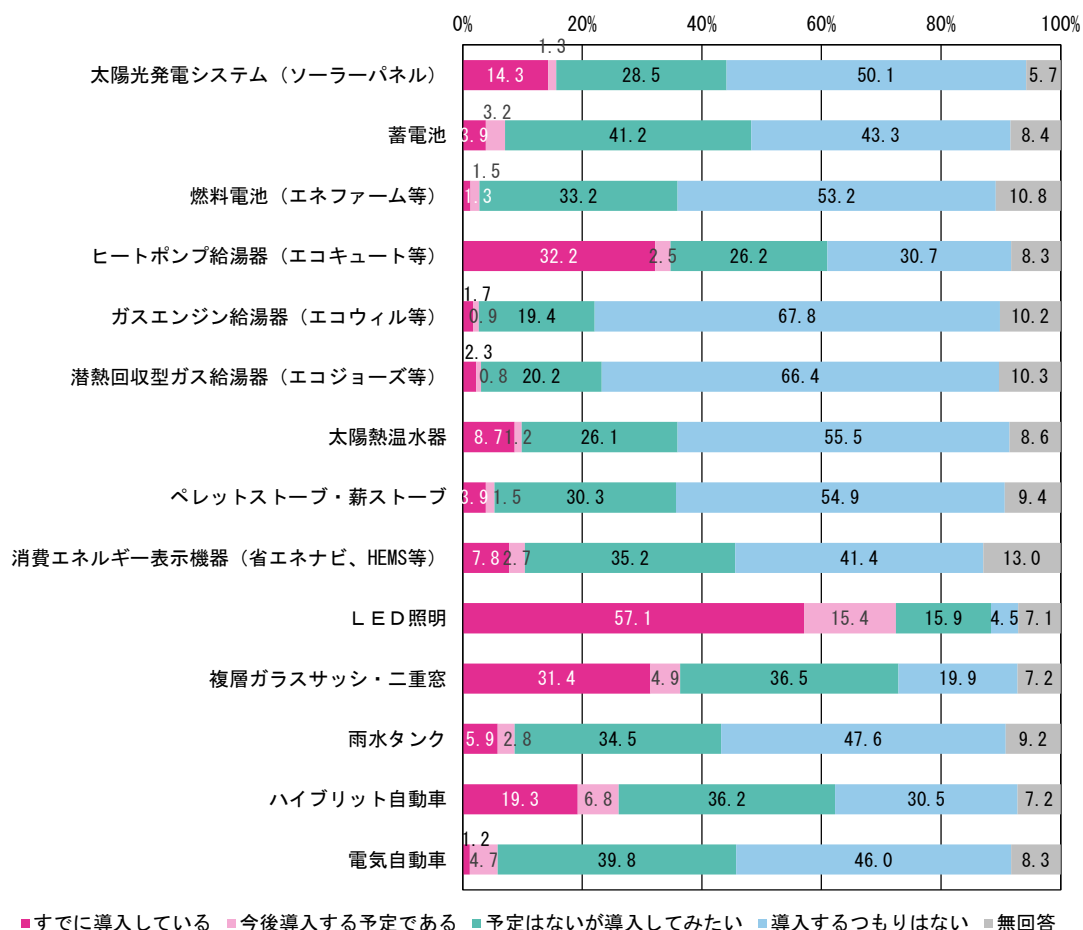
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	210	28.1%
② 導入する予定がある	14	1.9%
③ 予定はないが導入してみたい	384	51.3%
④ 導入するつもりはない	115	15.4%
無回答	25	3.3%
合計	748	100.0%



・「予定はないが導入してみたい」が最も高く 51.3%で、次いで「すでに導入している」が 28.1%と高くなっています。

2) 環境に配慮した設備の導入状況

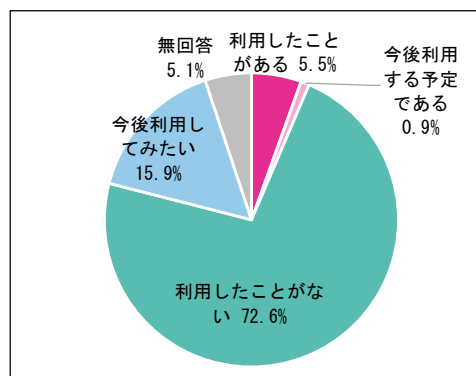
	すでに導入している	今後導入する予定である	予定はないが導入してみたい	導入するつもりはない	無回答	合計
太陽光発電システム（ソーラーパネル）	107	10	213	375	43	748
蓄電池	29	24	308	324	63	748
燃料電池（エネファーム等）	10	11	248	398	81	748
ヒートポンプ給湯器（エコキュート等）	241	19	196	230	62	748
ガスエンジン給湯器（エコウィル等）	13	7	145	507	76	748
潜熱回収型ガス給湯器（エコジョーズ等）	17	6	151	497	77	748
太陽熱温水器	65	9	195	415	64	748
ペレットストーブ・薪ストーブ	29	11	227	411	70	748
消費エネルギー表示機器（省エネナビ、HEMS等）	58	20	263	310	97	748
LED照明	427	115	119	34	53	748
複層ガラスサッシ・二重窓	235	37	273	149	54	748
雨水タンク	44	21	258	356	69	748
ハイブリット自動車	144	51	271	228	54	748
電気自動車	9	35	298	344	62	748



3) 地球温暖化対策に関連する補助の利用状況

<住宅用太陽光発電設備・住宅用蓄電設備の設置に関しての補助>

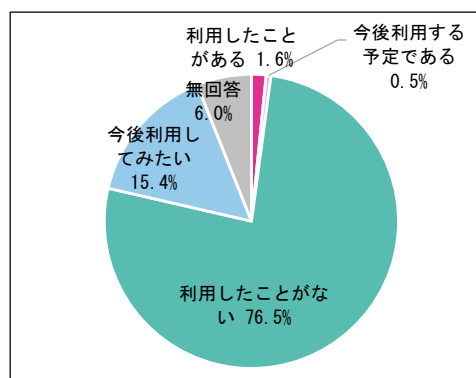
選択肢	回答者数	割合(%)
① 利用したことがある	41	5.5%
② 今後利用する予定である	7	0.9%
③ 利用したことがない	543	72.6%
④ 今後利用してみたい	119	15.9%
無回答	38	5.1%
合計	748	100.0%



- ・「利用したことがない」が最も高く大半を占めています。
- ・「利用したことがある」「今後利用する予定である」は6.4%に留まっているものの、「今後利用してみたい」を見てみると15.9%を占めており、利用を検討している回答者が一定数いることがうかがえます。

<薪・ペレットストーブ設置に関しての補助>

選択肢	回答者数	割合(%)
① 利用したことがある	12	1.6%
② 今後利用する予定である	4	0.5%
③ 利用したことがない	572	76.5%
④ 今後利用してみたい	115	15.4%
無回答	45	6.0%
合計	748	100.0%

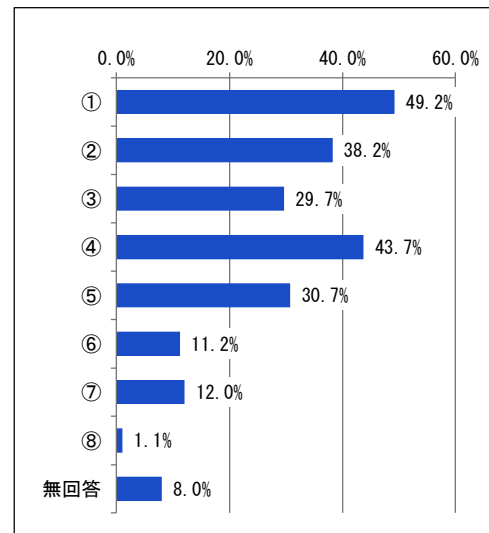


- ・「利用したことがない」が最も高く大半を占めています。
- ・「利用したことがある」「今後利用する予定である」は2.1%に留まっているものの、「今後利用してみたい」を見てみると15.4%を占めており、利用を検討している回答者が一定数いることがうかがえます。

4) 今後、エネルギーの効率的利用・省エネルギー化を進める上で重要だと思う取組

(複数回答)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 庁舎や公共施設における、積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入	368	49.2%
② 工場や事業所、住宅などの省エネルギー化に向けた取組の強化	286	38.2%
③ ライフスタイルの省エネルギー化に向けた取組の強化	222	29.7%
④ 省エネルギー型の設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実	327	43.7%
⑤ 省エネルギー型の家電製品や設備、エコ行動などに関する情報の発信	230	30.7%
⑥ 省エネルギーについての講座やPRの充実	84	11.2%
⑦ イベントなどでエネルギーについて学ぶ機会の充実	90	12.0%
⑧ その他	8	1.1%
無回答	60	8.0%
合計	1675	-



・「庁舎や公共施設における、積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入」が最も高く回答者の49.2%が選択しており、次いで「省エネルギー型の設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実」が43.7%と高くなっています。

IV 資料編

1 自由意見

※環境に関連する意見について、原文通りにまとめています

<人づくり>

- ・昔の日本の様に山々を掃除、保全する人材育成が必要と感じる
- ・美山、日吉、園部等々の自然豊かな環境が残る様に力を入れて欲しい。人材の育成が必要
- ・どんな取組にしても人が大切だと思う。人口減少の中、環境保全もなかなか難しくなっていく。都市部の人達の助けを得て草刈り等もしていかななくては、とても大変なことになる。行政が中心となって人を集め、人が動いてくれるよう準備を進めてほしい
- ・集落の共同体のつながりが弱くなって、何かを取り組む時にスタートしにくい
- ・自然を破壊する事なく維持する事が目的であるが、全ての人々の個々の努力が必要であり、いかに意識を持つかということしかないと思う。その意識の伝え方も重要
- ・一人一人が小さいことから始めていくこと。誘い合わせてクリーン作戦に参加すること。南丹市民のごみの分別意識は他市と比較しても大変高いと思います
- ・何事もそうですが一人一人が自覚をもって出来ることから始めることが大切。市職員も大変でしょうが率先して立ち上がって頂きたいと思います
- ・クリーンデー等に行政の職員も積極的に参画して頂きたい
- ・最近、環境に関心を持っている人が身近に多く、以前より良い方向に行っている様に思います。日吉町は良い方だと思っています。クリーン作戦など多くの人が参加しています
- ・環境などに関する取組等を市民へもっと情報発信する必要があると思います
- ・環境問題に対する市民への啓蒙活動
- ・現在、介護中心の生活であり、高齢者にもわかりやすい情報の必要性を感じます
- ・環境にターゲットを絞っていますが、100歳時代の突入で、独居老人増加対策、健康寿命増の取組など、環境問題と高齢化対策は並行していく必要があります
- ・国や地球規模での環境問題が深刻で、1人1人が真剣に考えて取り組んでいかなければならないと思います。しかし、身近な所で日頃つくづく考えるのは、あと10年したら自分の住んでいる集落はどうなっているのかということ。この10年で本当に荒地が増えた。地元以外の方が田畑を耕作すると、荒れていくように思います。里山の美しさよりも手入れがされていないところが目立ち、不審者も増えていると思います。防犯の視点からも、身近な集落環境の維持が住民の負担と不安になっていると思います
- ・人が大切にされ、人を大切に思うまちは、環境への関心も高まり暮らしやすいと思います。他自治体などから南丹市へ通勤、通学している方々が、歩行者より車が優先されるような印象を持っていると聞いた。身近な所でもそのように感じることも多い。待つ、譲る、の姿勢で
- ・まずは活性化。いくら自然環境が秀でていても、人が集まらずにサビれていくまちはイヤ!!
- ・南丹市の環境について関心を持っているのですが、どのように関わればいいのか手段が見つけれられていないので、ワークショップやセミナー等、関心を持った方、行動したい方が集まれるイベントがあるといいなと感じました。子どもの頃から育ててもらった自然いっぱいでの穏やかなこの場所が大好きなので、出来ることがあれば是非お手伝いしたいです

<生活環境>

- ・近辺で田畑焼きをする人がいます。これまで注意の呼びかけをしてもなかなか改善されません。もう一度注意を呼び掛けて頂けると大変有難いです。よろしく願います
- ・家庭ゴミを庭先で燃やす人がいる。分別して出してよ!
- ・いまだに近隣でゴミを燃やして煙が漂います。空気が汚れ、洗濯物まで煙の臭いがします。何とかしてほしいです
- ・本来、環境の良い地域で有るのに、昔からの習慣で知らずと自然破壊を行っている。野焼きも夜中、煙に包まれる状態であり、他所から地元へ帰ってくるとなぜと思う。ぜひ、改善策を望みます。民家から50m以内での野焼きは迷惑である。完全に乾かしてから短時間で燃え尽きるなら我慢もできる
- ・園部町内での焚火は禁止してほしい。煙たいし、健康に悪いし、火事の危険もある。個人で注意してはトラブルになるので市が禁止してほしい。園部の新鮮な空気が台無しである。焚火の煙を発見したら消防署の訓練の一環として消しに行ったらどうでしょうか?
- ・住んでいる地域では朝9時頃から夕方まで野焼きがすごい。夕方はあたり一面煙で真っ白です。朝から燃やされると洗濯物に臭いがつき困っている
- ・住宅街なので近辺に自然を感じるような環境はありません。どちらかというと猛スピードで走ってくる車の排気ガスが気になります。大気環境を守ってほしいです
- ・火葬場から出る煙、臭い等があり洗濯物がベランダに干せない。住みやすい環境にしてほしい
- ・自家用車による排出ガス低減のため、バス等の利便性を上げるべきと考えます
- ・エネファームから出る低周波音の為に不眠や食欲低下等の健康被害が出ている。家が接近しているところでは導入すべきではありません!!もっと注意喚起してください!!
- ・ゴミ収集日以外に可燃ゴミを出す人がいます。夏場は特に不潔で困っています
- ・日吉地域は山が多いため、不法投棄など特に注意してほしい

- ・子供が安心して遊べる遊具のある公園が少なすぎると思います。狭い道路等にも街灯の増設、防犯カメラの設置など実施の方向で考えてもらいたいです
- ・夜間の道路に照明を増やしてください
- ・市内に存在する道路(特に山間部)沿いのゴミ対策として監視カメラの設置、ポイ捨て防止網の設置、定期的なパトロール(状況把握)等、市や地域が協力しながら進める必要がある
- ・監視カメラの増設

<地域環境資源>

- ・昨今、田畑が住宅、その他に変わる事が大変な件数あると思いますが、田園をなるべく残して頂き、園部ならではの心安らぐ町にしてほしいと強く願っております
- ・山と川がたくさんある環境を強みとし、住人がまずその恩恵を十分に受けられるような施策を希望します。住んでいる住人が幸福でなければ、外部から人が来るはずもなく子供も増えない
- ・私は非農家なので言う権利はないのですが、最近高齢化で周辺の水田が維持できなくなり次々と売却され「資材置場」となっています。水田の維持が出来ないのは分かりますが、何とか水田の美しい風景を残してほしいと願っています
- ・有害鳥獣対策を実施して、適正な生息数に戻してほしい
- ・人の家の前に家庭菜園で作った野菜、花等いろいろと捨て、野生のシカ、アライグマ、サル、タヌキ等が来て困る
- ・最近(特に今年)、温暖のせいか鳥獣が増えすぎて、農業で大変困っています。この問題はこのアンケートの内容から離れているかもしれませんが、野菜畑の周りに柵をしなければならず、山から民家へも沢山降りてきて困っています。これも自然が壊されることの一つだと思いますが…
- ・この5~6年間で田畑が防獣ネットや鉄柵で囲まれ、田園の景観が損なわれてしまった。狩猟の頻度や人員を増やしサル、シカ、イノシシ等の駆除、外来生物(ヌートリア?)等の駆除や飼育管理法令の啓蒙、罰則の厳格化を検討し、昔の田園風景を取り戻したい。又、働く場所を増やし、田舎に住む人を増やすことも重要
- ・広葉樹の豊かな山を残してほしい(春は山桜、夏は新緑、秋は紅葉など、とても美しい里山風景)。土手や砂利のままの自然な小川を出来るだけ残してほしい。たくさんの動植物と共存できる豊かな町になるよう希望します
- ・山が手入れ不足で荒れているが、どうすれば良いのか。最近の台風は過去のものより大きく、脅威を感じる。保水力のある山というのは意図的につくれるのか。大雨のたび、崖崩れの心配をしている
- ・里山は守ることも大切だが、それを守る人が十分に生活できるように地域社会が意識を含めて変わっていく必要があると思う
- ・河川、道路端に草が繁茂しているのは、通行する他市の人の目からは、その市が活力のない寂れた町に見える
- ・河川の美化、台風の時に流れた土砂の整備に力を入れてほしい。河原の竹も汚くてゴミがひっかかっていたりする
- ・日吉町殿田付近の川と川が合流するところが将来残しておきたい風景。川によって水の色が違い、二色の水流が美しい。濁流と清流だったり、日によって二色が違う
- ・芦生の美しい流れを見てから水のことをとても気になります。あの透明な水が欲しいです
- ・海外資本に水源地などを買い占められないようする法整備をして下さい
- ・農家の自家採種を守って下さい
- ・自然環境保全は大事なことです。限界集落と言われている地域での生活環境(交通の便、買い物便)も改善しなければ、里山の維持は大変難しい
- ・それぞれの地域で歴史があり、シンボルとなっている場所(建物も含む)を保全するために地域住民が行っている活動への支援
- ・9ページに森林のことについて書かれていましたが、持ち山の手入れや管理が大変なので、行政が維持管理に関する情報などを発信してほしい。個人的に山を持っていることが負担になっており、相談やアドバイスなどがしてもらえぬ場所が欲しいです。このアンケートの趣旨から外れた意見となり申し訳ありません
- ・「自然が豊かな南丹市」というイメージがしっかり周りに広まっていると感じています。ただ「田舎で自然しかない」とマイナスイメージも強くあるので、南丹市で自然の中で体を使って遊んだ後に、もう一つ何か良さを感じたり、楽しめることがあると活気が出てくると思います。南丹市は広いのでまだまだ良いところ探しをしてみたいです
- ・高齢になると何も出来ないのですが、少々不便でも昔のような自然の美しい山、里であってほしいものです
- ・自然が素晴らしい地域なので何年経っても変わらない町づくりを期待しています。変えていくべきもの、場所、習慣は変え、守っていくべきものは守ってほしい
- ・豊かな自然の積極的な利用。ハイキングコースの整備、立木を利用した取り組み等。市がもっと積極的に各地域の良さを知って、具体的な自然とふれあえる場所等を整備して地域活性化を図ることを望みます
- ・町の真ん中の道路を広げるよりも森林公園などを整備して(作って)ほしい
- ・開発する場合には、その場所の川、山などに住んだり生えている動植物をよく調べてからにしてほしい
- ・園部には「るり溪」という名勝があるが、河川整備、通路、駐車場の整備をすればもっと他府県から人を呼び込めると思う
- ・自然(山や田)をつぶし開発することは環境をダメにする第一歩だと思います
- ・ソーラーパネルの制限
- ・メガソーラーを設置して普及を図るのは基本的には賛成だが、設置場所を条例とかで制約をかけた方が良い。住宅地の中に設置すると、住んでいるところの美観を損なう。パネルの影響で台風とかの強風により、風向きが変わり周りの住宅、建物に影響がある。特に2018年の台風21号並みの巨大台風が今後も上陸、直撃してくる
- ・大規模太陽光発電の設置は景観を損ねる。ある程度、規制をした方が良いと思う
- ・ソーラーパネルを設置するために木が切られています。地中の雨水の流れが変わり、湿気によってカビだらけになった住宅があるようです(日吉町)。森林の斜面が大きく切り開かれ、土砂崩れなどの心配もあります。ソーラーパネルを設置できる条件や設置の際の安全対策など基準づくりをお願いしたいです

- ・山、森を破壊してソーラーパネルを設置し、何が環境問題に取り組むというのか?災害が発生した時、被害が増大すると私は思っています
- ・野生動物のすみかが太陽光パネルのせいで無くなっている。授業などで話を聞く限り、動物が悪いのではなくて「人間」が悪いと思います。太陽光パネル設置の場所を考えてください。山を削って太陽光パネルをつくらないでください
- ・太陽光パネルを増やさないようにしてほしい。田舎は田舎らしく、街は街らしい景観づくりしてほしい
- ・「環境対策」と称して太陽光パネルの設置による環境破壊だけは何としても止めてもらいたい。自然の摂理に沿った環境土木の先進になってほしい
- ・大型太陽光発電設備が山林沿いに多く設置されているが、その管理が今後継続されるのか。事業者が倒産して放置されるところが多く出てくるのではないかと心配している
- ・空家を壊しても固定資産税等が増えない対策を国に要望したり、市独自の取組をしてほしい
- ・空家の環境保全について、行政のアドバイス、支援がほしい。不在家主の増加で困っている
- ・愛着のある実家が空家になり、管理が大変で困っています。田畑にも茅がいっぱい生えてきます。少しずつ頑張っ
- ・てはいますが本当に大変です
- ・持ち主のある空地が手入れされず、雑草が生え放題になっている。道路にはみ出たり電線に巻き付くなど心配になる所もある。持ち主に行政から指導してもらいたい
- ・空家の積極的な売却で若い世帯にもっと移住してもらえるよう取り組んでほしい。空家が減ると子供たちの通学面でも安全につながると思う
- ・子供たちが体を動かして遊べるアスレチック運動場などが南丹にはないように思います。あったらうれしいです

<資源循環>

- ・天神川に流れ込んだ枝ゴミがいっぱい引っ掛かっています。どのような方がどこに処分されるのでしょうか
- ・八木町でもビニール袋等の使用を制限したり、ポイ捨ての罰則等を検討すべきだと思います
- ・「ビニール類」の分別方法が変更になり、家庭から出るゴミの分別が大変になりつつある。ビニール類から外されるゴミは「可燃ゴミ」として排出するようであるが実際問題、結局は家庭で焼却してしまうケースが多くなるのではないかと。ビニールに該当しないものは可燃ゴミとするわけだからどうして分別するのか意味が分からない
- ・この度のゴミの出し方の変更(ビニール)について、ビラ1枚ではさっぱり分かりません。環境委員からの説明会等の開催が必要と考えます
- ・ビニールゴミの出し方等が頻繁に変わり分かりづらい
- ・ゴミの出し方がいろいろ変わって行くので、高齢者の一人暮らしの方たちでは無理で大変です。塩ビも増えるので何かいい方法がないと大変になります
- ・ビニール、その他すべてが困りますが、年をとると選別するのが大変です。もう少し考えてほしいです
- ・ごみ収集における地域の住民の負担(早朝の当番)の軽減を図るべき。若者の定住化を疎外している大きな要因と考える
- ・花畑や野菜畑から出る雑草や草木、植木の小枝等どう処理すればいいか教えてほしい。嵩の小さいものは乾かしてゴミ袋に入れて出していますが追いつきません
- ・資源ごみを出す場所や時間帯など増やしてほしい。ビンの回収の際、色別のコンテナに分けているが、収集車にまとめて入れている。何のために分別しているのかわからない
- ・不燃ゴミ収集所が家から遠く、又、回収日が少ないためゴミを出しにくくたまりやすい。もう少し収集所が増えるか、回収日が増えると出しやすくなると思う。シュレッダーゴミの収集をしている業者が亀岡にしかないので園部にもあると助かる
- ・ゴミの出し方について変更があったが、少しでもゴミの減量やリサイクルにつながればと思って協力しています。肉、魚、卵などの食品トレイもスーパーでの回収はありますが、美山からだを持って行きにくく、ビニールゴミとして出しています。リサイクルとして回収していただきたいです
- ・環境に配慮した製品(洗濯洗剤や食器洗い洗剤など)の購入に対する補助制度があるとうれしい。1人1人が日々の生活で環境を大切にすることがとても大切だと思うが、本当に地球環境のことを配慮した生活用品は値段が高く、家計の問題から環境にあまりよくない合成洗剤などを使わざるを得ない。また、子供の保育園ではオムツ、着替えなどのゴミの持ち帰り袋として毎日ビニール袋を持たせる必要があり、スーパーでレジ袋をもらわざるを得ない。レジ袋が有料化になるのは少し困る…。プラゴミ削減は大事だが、毎日の生活で役に立ったり必要な場面が多くジレンマに悩まされている
- ・京都生協でプラスチック問題について学びました。マイクロプラスチックが大気中で見つかったとの情報もあります。時代に促した環境変化に関わる問題を一人一人が学習することが、知って関心を持つことが、今一番大切なことだと思います
- ・今一番身近で考えることは、とり合えずレジ袋を無くすことが大切で、ペットボトルもこれからのように利用していったらいいのか、みんなが感心をもっていけば少しは環境も良い方向になるのでは…と思っています
- ・プラスチック製品が普及していますが、極力なくしていく様に。紙を燃えるものに変えていけないのか…。紙も加工によっては強力なものがあるはずですが…(ストロー、紙、使い捨てスプーン、紙)。イベントなどの食事のゴミは家庭へ持ち帰る
- ・薄くて大容量のエコバックを各家庭に無料配布して、レジ袋の削減を図ってはどうか
- ・経済活動も大切ですが、ムダなものは買わず、物を大切にすることも大切だと思います。自分でできることは限られていますが、このまま何もせずにいると数十年後には外を出歩くことも困難な時代がやってくるかもしれないと思います

<地球環境>

- ・杉等の伐採推進と広葉樹等への移行、森林の再生及びその伐採木材の活用(薪などに応じて薪ストーブ、ペレットストーブの普及)により南丹市として特色のある事業を行ってほしい
- ・薪ストーブの設置補助があっても、薪代が高つくので浸透しない。森林に囲まれた南丹市ならではの「薪」があればエコ活動が出来るのではないかと。又、外に向けて南丹市のアピールになるのではないかと
- ・薪ストーブやソーラーパネルが本当に省エネなのか。長期的に森林や水をおびやかす存在にならないか。南丹市の自然環境を守る上で、本当に今の取り組みが必要なのか
- ・災害で電気が止まることもあるので、再生エネルギーや薪ストーブ等で地域ごとにエネルギーを常に確保できるシステムはないでしょうか
- ・日吉温泉は木質バイオマスで稼働すべきです
- ・バイオエネルギーでもっとゴミや汚物でメタンガスをつくる。メタンガス発電が出来ないのだろうか
- ・薪ストーブは自然エネルギーの利用だと思うが、ソーラーパネルは山林保全にはならず、自然エネルギーの利用だとは思えない。間伐材の有効活用と、地域の林業を守っていくべきと思う
- ・農業をされていて温暖化による影響を強く感じます。豊かな自然環境を守り、安心して暮らせる地域づくりが大切だと思います
- ・外塗などでも断熱、省エネ対策が出来ることを知らせることが必要。自動車よりバス、電車を利用したいと思うが、便数が少なく地域によって利用する人も少ない為、活用は大変難しい
- ・SDGsは「人間のため」なのか「地球全体」のためなのかよく分からない。「地球全体」のためなら、人間は早く絶滅する方がよい。人類がいない方が地球の他の生命体(動植物、昆虫、魚など)の持続が可能である。パリ協定を撤廃しようとするトランプ大統領を放任している日本政府が情けないと思います。南丹市は少しでもこれに反対してほしい
- ・スウェーデンの16歳の女学生の環境問題に対する大人への怒り。政策として1つをまじめに行政として取り組んでほしい
- ・便利な生活を送るために電気などのエネルギーは必要ですが、自然環境に悪影響がないエネルギーの生み出し方、使い方を個々が考えることが大事だと思います
- ・昨今、災害による大規模停電が起きました。いつ何時そのようなことが起こるかわかりません。電気や流通のものに頼っている生活のよろさを感じました。実際、その便利さの中に生きているので大きなことは言えませんが、本当に自分たちで生活できる力をそれぞれが少しでも身につけていかねばならないと感じています。その方向に行政が段階的に市民を誘導していくことが大事だと思います
- ・近年、地球温暖化に起因する局地的集中豪雨が多発し、想定外の水害が発生しています。南丹市域は、中山間地に農地が点在していますが少子高齢化もあって、その保全維持に各地区苦慮しています。水田は降雨時の水溜としての機能を備え、水害防止に貢献していますが、放棄田が毎年増加しています。農地維持、農業インフラの保全に、市として積極的に取り組んでほしいと思います。特に用水路の維持管理は地元だけでは維持困難です
- ・日吉町は谷が多いです。大雨時には心配であり、寝ることが出来ません。こんな思いをされている方々はたくさんおられると思います。早く改善してほしいと思っています
- ・南丹市もなるべく自家用車を利用しないような施策を行う
- ・電気自動車の充電設備の拡充
- ・私のような賃貸住宅に住む者は、省エネしようにも設備の設置そのものが出来ない。賃貸住宅でも使用できる設備や製品がもっとたくさん種類があるといいのにといつも思う
- ・ソーラーパネルの建設は、再生エネルギーの観点からは良いことかもしれませんが建設に関して周辺住民への説明がない、工事騒音、においなどトラブルが多いです。議会で取り上げていましたが、条例で一定のルールを決めてほしいです
- ・ハイブリッド自動車を生産する際に出るCO2排出量が普通車に10年乗っているCO2より多いとニュースで知りました。買い替えることがメリットとなるのか、メリットは誰にでも生じるものなのか、どの時点の環境を優先するのかがよく分かりません。森林も人間にとってきれいにすることは動物にとってはどうか。動物が田畑を荒らすことにつながり、農家の負担にならないか。何が良いかわからず、手を出せずにいる状態です
- ・関東で震災を経験し、5年過ぎても庭等で放射線量が高い場所があり移住してきました。若狭にある原子力発電所がとても気になります。原子力災害が起こると、南丹市の田、畑、豊かな自然環境がすべて失われてしまうかもしれません。将来的には原子力に頼らない道が、南丹市の環境を守るためにはとても重要だと思います。現実的な対策としては再生可能エネルギーの積極的な導入に加えて、各町の支所に原子力災害時に独自に放射線量を計測できる設備を備えておいていただきたいです。美山には特に各所に必要であり、平常時に測定していなければ、事故が起こったかどうか判断できないのではないのでしょうか。災害時の混乱の中では、市独自で判断せねば住民を守れないと考えております
- ・温暖化対策の補助は全く知りませんでした
- ・住宅用太陽光発電設備やペレットストーブ設置の補助があることを多くの市民は知らないと思うので、周知を
- ・言葉が難しかった。これだけ暑い日が続くのに、太陽光をエネルギーとして蓄える技術が無いのが不思議です
- ・大規模な太陽光発電施設を設置しようとしても周辺の合意を得ることが難しく進まない。このため、再生エネルギーの開発について、もっと環境施策として市が主導してほしい。補助金を出すだけでなく、地域に入って開発誘導を
- ・太陽光発電は技術向上で現時点では便利とは思いますが、未来のゴミ問題を考えると森林伐採をしてまで増やす価値があるか疑問が残ります
- ・Iターン、Uターンには家を建てる際に補助があり、環境においてもいろいろな設備を導入できるが、同町内の移動では補助は出ない。環境保全に向けた何らかの支援が欲しい
- ・新築の屋根にはソーラーパネルを義務化すれば良い

<その他>

- ・南丹市の環境は、大都市に比べれば守られていると思う。もっと文化活動が多くの人に広がっていく町であってほしい
- ・南丹市は、自然が豊かで空気がキレイで住み心地が良いです。田舎なので多少不便なところはありますが、これからも山々が美しい南丹市であり続けてほしいと思っています。子供も豊かな自然の中で伸び伸び育ってくれると思います
- ・環境問題も大切だが市民生活に直結する施設の改善を望む
- ・南丹市には南丹市の良いところがあるので、過剰な都市化、工業化、観光地化する必要は無いと思う。個人的には南丹市の良いところは、自然が豊かなところと農業などに適した土地が多いところだと思う。このような環境を活かした省エネルギー、少消費で、一次産業を大切にする市であってほしいし、そのような政策を積極的にとってほしい。又、このような生き方は今後の地球環境のためには必要になってくると思うし、他の自治体の見本となるくらいになればとても良いことだと思う
- ・数10年前の政策上の間違いや、見通しの甘さから様々な矛盾が発生しています。原子力発電所の事故はその地域を破壊しました。忘れてはダメです。隣の福井は絶対に安全ではありません。たとえ1%の事故でも同じ結果になります。日本は地震多発国です。今、環境的に”美しく”なっている…一瞬で消え去りますから…。環境基本計画も絵に描いた餅になってしまうでしょうね
- ・今回、アンケートに記入して意識するようになりました。環境について改めて考え直す機会が得られました
- ・今回このアンケート送付を受けて、改めていろいろな環境問題について少し感じる事が出来ました。これからは時間をつくって行動を起こしていきたいと思います
- ・高齢化に伴い有効な施設が必要。園部町内に共同浴場、飲食施設などを取り入れ高齢者が気軽に外出できる機会を増やす
- ・今後10年～15年先を見据え、周辺市町との広域的な連携のもと、ビジョン策定と支援、施策を考えて、持続可能な計画をお願いします
- ・せっかくのアンケートはもっと積極的に還元し、意味のあるものになればやるだけムダになると思います
- ・アンケート用紙が上質すぎる
- ・アンケートにこのような上質紙を使用してほしくない

2 調査票

南丹市の環境に関する市民アンケートご協力をお願い

皆様には、日頃から市政に対して、ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

南丹市では、平成 29 年に「南丹市環境基本計画」を策定し、各種施策を進めてまいりました。

近年、環境を取り巻く状況がさらに複雑化、深刻化するとともに、集中豪雨や猛暑など気候変動への対応が社会的に大きな関心となっています。また、現行の計画が令和 2 年度に計画期間の満了を迎えることに伴い、本市における今後の環境に関する長期的な目標や施策などを示す「第二次南丹市環境基本計画」を策定することとしております。

今回アンケート調査を実施することにより、本市の環境に関して、広く市民の皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただき、次期計画の基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しい中、お手数をおかけしますが、目的・趣旨をご理解のうえアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年 11 月

南丹市長 西村 良平

●アンケートについて

- ・あて名の本人がお答えください（ご本人が記入いただけない場合は、ご家族の方が代筆いただいても結構です）。
- ・本アンケート調査は、市内在住の 18 歳以上の方を対象として、無作為に抽出した 2,000 人の方をお願いしています。なお、調査結果は、統計的に処理を行いますので、個人に関する情報が特定されることはありません。

●ご記入にあたってのお願い

- ・お答えの中で「その他」を選んだときは、番号に○をつけていただくとともに、() 内に具体的な内容をご記入いただく場合があります。
- ・ご記入いただいた回答票は、返信用封筒（※切手は不要です）に入れて、

12月2日（月）までに、返送くださいますようお願いいたします。

- ・この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】南丹市役所 市民部 市民環境課

T E L : 0771-68-0085

F A X : 0771-63-0654

1. はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

1) あなたは、どの年齢層に該当しますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 10～20代 | 2. 30～40代 |
| 3. 50～60代 | 4. 70代以上 |

2) あなたご自身を含めて、ご家族は何人ですか。(1つに○)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3～5人 | 4. 6人以上 |

3) あなたは、どの地域にお住まいですか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 園部地域 | 2. 八木地域 | 3. 日吉地域 | 4. 美山地域 |
|---------|---------|---------|---------|

4) あなたは、主にどのような職業に携わっておられますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 自営業及びその家族従事者 |
| 3. 会社員、団体職員など | 4. 公務員、教員など |
| 5. パート・アルバイト | 6. 学生 |
| 7. 家事専業 | 8. 無職(求職中を含む) |
| 9. その他 () | |

2. あなたの環境に対するお考えや意識についておたずねします。

1) 以下の項目の中で、あなたが最も重要であるとする環境問題は何か。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 地球温暖化、酸性雨など地球規模の環境問題 |
| 2. エネルギー・資源の枯渇に関する問題 |
| 3. 大気汚染に関する問題 |
| 4. 水質汚濁に関する問題 |
| 5. 3R(リデュース:減らす、リユース:再使用、リサイクル:再資源化) |
| 6. 不法投棄、ポイ捨てなどのごみ問題 |
| 7. 森や川などの自然環境に関する問題 |
| 8. その他 () |

2) 近年、様々な環境問題が話題になっていますが、あなたは次の言葉をどの程度知っていますか。それぞれ1～3に1つ○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	知っている	言葉だけ知っている	聞いたことがない
SDGs (エスディージーズ)	1	2	3
COOL CHOICE (クールチョイス)	1	2	3
食品ロス	1	2	3
マイクロプラスチック	1	2	3
地球温暖化適応策	1	2	3
ZEH (ゼッチ)	1	2	3

※これらの用語については、最後のページで解説しています。

3) あなたは「地球温暖化が進んでいる」という実感はお持ちですか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 非常に感じる | 2. 感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 全く感じない |

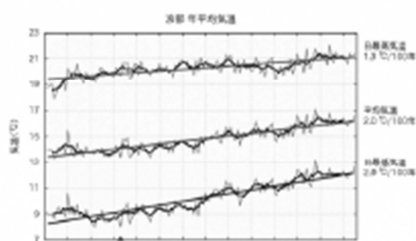
4) 「1. 非常に感じる」「2. 感じる」と答えた方はどういふことで温暖化を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 猛暑日の増加 | 2. 自然災害や異常気象の増加 |
| 3. 食物の不作 | 4. 身の回りの生態系の変化 |
| 5. その他 () | |

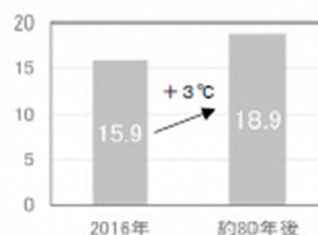
TOPIC

▼京都府の気候

京都府平均気温は年々上昇していて、それに伴い熱帯夜の日も増加しています。約80年後には平均気温は鹿児島県の平均気温(18.6℃)以上になり、熱帯夜は30日を超えると予想されています。



【京都府の平均気温の推移】



【京都府の将来の平均気温】

出典：「京都府の気候変動」京都府地方気象台ホームページ

3. あなたの日常生活のことについておたずねします。

- 1) あなたやあなたの家庭では、日常生活の中で、環境に負担をかけないようにどのようなことを行っていますか。取組の内容について、もっともあてはまる1～4の番号をそれぞれ1つ選び、○をつけてください。(それぞれに1つに○)

行 動 内 容	実施している	ある程度実施している	今後実施したい	実施する予定はない
●生活に関すること				
(1) 不必要な照明はこまめに消したり、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている	1	2	3	4
(2) 冷暖房は高温で使用する	1	2	3	4
(3) 冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	1	2	3	4
(4) 洗濯はできるだけまとめ洗いをする	1	2	3	4
(5) 災害時の備えとして、防災セットを用意し、定期的な点検をしている	1	2	3	4
(6) できるだけ自家用車よりバスや電車を利用する	1	2	3	4
(7) 不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う	1	2	3	4
●ごみに関すること				
(8) 詰め替え用容器を用いた商品を使用する	1	2	3	4
(9) スーパーでレジ袋をもらわない	1	2	3	4
(10) 外出時に出たごみは持ち帰っている	1	2	3	4
(11) 資源ごみの回収に協力する	1	2	3	4
(12) 生ごみのコンポスト(たい肥)化機器を使用する	1	2	3	4
(13) 使わないものはフリーマーケットやリサイクルショップに出す	1	2	3	4
●自然環境に関すること				
(14) 河川などの清掃活動に参加している	1	2	3	4
(15) 身近な生き物(ホタル、メダカなど)のすみかを荒らさないよう注意している	1	2	3	4
(16) 自然保護などのボランティア活動に参加している	1	2	3	4
(17) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている	1	2	3	4
●その他				
(18) 環境に関するイベント、講習会等に参加し知識向上に努める	1	2	3	4
(19) 地元産の農作物などを積極的に購入し地産地消に努めている	1	2	3	4
(20) ガーデニングや緑のカーテン [※] 等により、家の敷地周りの緑化をする	1	2	3	4

※：ゴーヤなどのツル性の植物でつくる自然のカーテンで、真夏の暑い日差しを避けることができ、過度な冷房を抑えることでCO₂の排出削減につながることを期待されています。

4. あなたがお住まいになっている地域の環境についておたずねします。

1) お住まいの地域の環境に対してどの程度関心をお持ちですか。 (1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 関心がない | 2. あまり関心がない |
| 3. やや関心がある | 4. 関心がある |

2) お住まいの地域の環境に対して、もっともあてはまる1～4の番号をそれぞれ1つ選び、○をつけてください。 (それぞれ1つに○)

環 境 項 目	不 満 である	やや 不 満 である	やや 満 足 し て い る	満 足 し て い る
空気のきれいさ	1	2	3	4
河川など水のきれいさ	1	2	3	4
静かさ (騒音がない)	1	2	3	4
緑の豊かさ	1	2	3	4
自然とふれあう場所が多い	1	2	3	4
地域の清潔さ (ごみが少ないなど)	1	2	3	4
街並みの美しさ	1	2	3	4
歴史との接しやすさ (文化遺産や伝統行事にふれあう機会など)	1	2	3	4
自然の生き物とのふれあい	1	2	3	4
暮らしの安全性 (防災や食の安全性など環境面からの暮らしの安全性)	1	2	3	4
環境学習を学べる場所がある	1	2	3	4
自然エネルギー (ソーラーパネルや薪ストーブなど) が積極的に利用されている	1	2	3	4

3) 地域の身近な自然 (里山、田んぼなど) は、10年前と比べて変わりましたか。当てはまるものに○をつけてください。 (1つに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 変わらない | 2. 手入れ不足などにより荒れてしまった |
| 3. 開発などにより少なくなった | 4. わからない |

- 4) お住まいの地域について、あなたが「将来残しておきたい」と思う場所がありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、具体的な場所がある場合は、その場所の名前や住所、理由を下の表に記入してください。

1. ある	2. ない
-------	-------

あなたが「将来残しておきたい」と思う場所について、具体的な場所があればご記入ください。

名前：(記入例) 〇〇川	場所：(記入例) 南丹市〇〇町〇〇〇 (わからない場合は「〇〇町」などの 大まかな記入や無記入で結構です。)	理由：(記入例) ホテルがたくさんいて綺麗だから。
名前	場所	理由

- 5) お住まいの地域について、「改善したい」と思う場所がありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、具体的な場所がある場合は、その場所の名前や住所、理由を下の表に記入してください。

1. ある	2. ない
-------	-------

あなたが「改善したい環境」と思う場所について、具体的な場所があればご記入ください。

名前：(記入例) 〇〇町の〇〇道路沿い	場所：(記入例) 南丹市〇〇町 (わからない場合は「〇〇町」などの 大まかな記入や無記入で結構です。)	理由：(記入例) ごみの不法投棄が多いから。
名前	場所	理由


5. 南丹市全体の環境についておたずねします。

1) 将来の南丹市の環境を考えた場合、あなたが望む将来のイメージに最も近いものについて、次の項目の中からあてはまる番号を1つずつお書きください。

- | | | |
|----------------------------------|------------|----------------------|
| 1. 空気・水のおいしいまち | 1番目に望むイメージ | <input type="text"/> |
| 2. 静かで落ち着いた雰囲気のみち | | |
| 3. きれいな星空が見える空気の澄んだまち | 2番目に望むイメージ | <input type="text"/> |
| 4. 豊かな自然を大切にすまち | | |
| 5. ホタルなど身近な生きものと触れ合えるまち | 3番目に望むイメージ | <input type="text"/> |
| 6. 歴史・伝統を大切にすまち | | |
| 7. ごみのない(少ない)きれいなまち | | |
| 8. リサイクルの盛んなまち | | |
| 9. 省エネルギーに貢献すまち | | |
| 10. バイオマス(家畜排せつ物や薪など)の利用が盛んなまち | | |
| 11. 市民が主体となる環境保全等のボランティア活動の盛んなまち | | |
| 12. その他(具体的にお書きください) | | |

{ }

2) 南丹市の恵まれた環境を守るために、市に重点的に進めてほしい施策はどれですか。(3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 水環境を守る |  |
| 2. 大気環境を守る | |
| 3. 騒音・振動の低減 | |
| 4. 悪臭・土壌汚染等の改善 | |
| 5. 美しい街並み景観の誘導 | |
| 6. 光害(ネオンなど、照明の害)への改善 | |
| 7. 歴史・伝統文化の保全 | |
| 8. 豊かな自然環境の保全 | |
| 9. 身近な生き物とふれあえる環境づくり | |
| 10. 不法投棄の取り締まりの強化 | |
| 11. ごみの減量化とリサイクルに向けた取組 | |
| 12. 環境教育の推進 | |
| 13. 地球環境の保全 | |
| 14. 環境の情報提供の推進 | |
| 15. 環境保全活動に取り組む住民・事業者に対する支援 | |
| 16. その他(具体的にお書きください) | |

{ }

- 3) 南丹市の恵まれた環境を守るため、市民が主体となって進めていくことが望ましい取組はどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 環境美化運動
2. 森づくり運動 (植林や森の手入れなど)
3. 外来種3ない運動 (外来種を入れない・捨てない・拡げない)
4. 花いっぱい運動 (自宅の敷地や身近な公園などの緑化)
5. レジ袋削減・マイバッグ持参運動
6. マイボトル・マイ箸の持参運動
7. 食品ロス (食べられるのに捨てられてしまう食品) の削減運動
8. リサイクル運動
9. エコドライブ運動
10. 省エネ・節電運動
11. その他 (具体的にお書きください)

[

]

- 4) 地域の環境を保全していく上で、あなたが参加するとしたらどのような活動に参加してみたいと思いますか。 (3つまでに○)

1. 自然体験活動 (自然観察会やエコツアーリズムに参加する活動)
2. 里山保全活動 (荒れた山林や遊休地を整備する活動)
3. ビオトープづくり (野生の生き物がすみやすい環境を整備する活動)
4. リサイクル活動 (地域からでるごみを極力リサイクルしていく活動)
5. 自然エネルギーの活用
(有志者で出資し、ソーラーパネル等を設置し自然エネルギーを活用する活動)
6. バイオマスの活用 (家畜排せつ物を利用した堆肥や薪ストーブを利用する活動)
7. 環境保全活動 (草刈り清掃等)
8. 農業体験活動
9. 特に参加したいとは思わない
10. その他 (具体的にお書きください)

[

]

- 5) 南丹市には、由良川や桂川、また日吉ダムといった河川・水辺環境が多く見られます。このような環境を守るために、あなたはどのような取組に参加したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 清掃や草刈りなどの維持・管理など | 2. 川を使った交流イベント |
| 3. 生息する生き物を守る活動など | 4. 自然観察会など |
| 5. 関心はあるが参加したいと思わない | 6. 関心がない |
| 7. その他 () | |

- 6) 南丹市は、市域の多くが山林となっており、豊かな自然に恵まれています。この森林について、今後、あなたはどのような姿にしていくべきだと思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 森林経営が盛んに行われ、スギなどの人工林が中心となる森林 |
| 2. 保水力の高い広葉樹が中心となる森林 |
| 3. 森林公園など、人が親しみやすいように整備された森林 |
| 4. あまり手入れを行わず、自然のままに任せた森林 |
| 5. 市の発展や活性化のために、開発を優先して行う森林 |
| 6. その他 (具体的にお書きください) |

()

6. 地球温暖化に関するあなたのお考えをおたずねします。

- 1) あなたのご家庭において、環境に配慮した住宅(住宅の構造や設備などの断熱化・省エネ化を図った住宅)に対応することについてどうお考えですか。(1つに○)

- | |
|------------------|
| 1. すでに導入している |
| 2. 導入する予定がある |
| 3. 予定はないが導入してみたい |
| 4. 導入するつもりはない |

- 2) あなたのご家庭において、次のような環境に配慮した設備を導入する予定はありますか。それぞれの設備について、ご家庭の状況に最もあてはまるものを1～4から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

設 備	すでに導入している	今後導入する予定である	予定はないが導入してみたい	導入するつもりはない
太陽光発電システム（ソーラーパネル）	1	2	3	4
蓄電池 ^{※1}	1	2	3	4
燃料電池 ^{※2} （エネファーム等）	1	2	3	4
ヒートポンプ給湯器 ^{※3} （エコキュート等）	1	2	3	4
ガスエンジン給湯器 ^{※4} （エコウィル等）	1	2	3	4
潜熱回収型ガス給湯器 ^{※5} （エコジョーズ等）	1	2	3	4
太陽熱温水器	1	2	3	4
ペレットストーブ・薪ストーブ	1	2	3	4
消費エネルギー表示機器（省エネナビ ^{※6} 、HEMS ^{※7} 等）	1	2	3	4
LED照明	1	2	3	4
複層ガラスサッシ・二重窓 ^{※8}	1	2	3	4
雨水タンク	1	2	3	4
ハイブリット自動車	1	2	3	4
電気自動車	1	2	3	4

※1：太陽光発電などで発電した電力や割安な夜間電力をためて利用する電池のことです。

※2：ガスや灯油から取り出した水素で発電し、給湯などに利用する電池のことです。

※3：大気中の熱を取り込む熱効率の高い省エネルギー機器です。

※4：ガスを燃料として電気を作り、その時の排熱で給湯や暖房を行う機器です。

※5：ガスでお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱ロスを抑えた機器です。

※6：現在のエネルギー消費量を金額で知らせたり、利用者の定めた省エネ目標を超えると知らせたりして家庭の省エネ・節電を手助けする設備です。

※7：電気などの消費状況を使用料や金額で表示したり、電気機器の自動制御をしたりして、省エネ・節電を手助けする設備のことです。

※8：断熱材を使用したりガラスを二重にしたりすることで、断熱効果を上げ、空調の節約・節電に繋がります。

- 3) 南丹市では地球温暖化対策として以下の設備に対して補助を行っています。あなたのご家庭において、利用したことはありますか。それぞれ1～4から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)


	利用したことがある	今後利用する予定である	利用したことがない	今後利用してみたい
住宅用太陽光発電設備・住宅用蓄電設備の設置に関する補助	1	2	3	4
薪・ペレットストーブ設置に関する補助	1	2	3	4

- 4) 低炭素社会・循環型社会を構築する取組として、今後、エネルギーの効率的利用・省エネルギー化を進める上で、特に重要だと思う取組はどれですか。(3つ以内に○)

1. 庁舎や公共施設における、積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入
2. 工場や事業所、住宅などの省エネルギー化に向けた取組の強化
3. ライフスタイルの省エネルギー化に向けた取組の強化
4. 省エネルギー型の設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実
5. 省エネルギー型の家電製品や設備、エコ行動などに関する情報の発信
6. 省エネルギーについての講座やPRの充実
7. イベントなどでエネルギーについて学ぶ機会の充実
8. その他 ()

7. その他

その他、環境についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。



皆様の貴重なご意見は、今後策定していく南丹市環境基本計画および市の環境政策に反映していきたいと考えています。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

～ 用語解説 ～



食品ロス

飲食店や小売店などの店舗の売れ残りや賞味期限が切れ販売できなくなったもの、飲食店や家庭での食べ残しなど、まだ食べられるのに廃棄される食材のことを指します。多くの食品がゴミとして処理され、二酸化炭素が大量に排出されている現状が問題視されています。

SDGs

SDGs（エスディージーズ）とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略語です。SDGsでは貧困、飢餓、ジェンダー、教育、環境、経済成長、人権といった幅広いテーマからなる17の目標とそれらを達成するための具体的な169の達成基準が設定されています。

南丹市でもSDGsの実現を目指す視点を踏まえた取組を進めていきます。



出典：国際連合広報センターホームページ

マイクロプラスチック

ボイ捨てや日常的な使用等で海に流れ出てしまった使用済プラスチックが、劣化によって5mm以下のサイズになったものをいいます。マイクロプラスチックに吸着した汚染物質を海洋生物が食べてしまったり、生態系への影響が懸念されるなど、現在、海の世界汚染問題の1つとなっています。

COOL CHOICE（クールチョイス）

COOL CHOICE（クールチョイス）とは脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの転換」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のことです。

環境に優しい省エネ家電への買換えキャンペーンや、クールビズやウォームビズといった取組の推進など温暖化対策の活動に関しての呼びかけや啓発を行っています。



未来のために、いま選ぼう。

出典：COOL CHOICEホームページ

ZEH（ゼッチ）

net Zero Energy Houseの略。住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現し、太陽光などでエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギーをゼロにする住宅のことです。